令和6年勝浦町マラソン議会（ひな会議）会議録第1日目

1 招集年月日 令和6年3月1日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

開議 3月1日 午前9時30分 議長 松田貴志

散会 3月1日 午後4時30分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（9名）

1番	内谷安宏	3番	長尾隆資
4番	玉置守	5番	花房勝一
6番	瀬戸直一	7番	美馬友子
8番	松田貴志	9番	筈公一
10番	井出美智子		

○欠席議員（1名）

2番 福井裕美

1 会議録署名議員

1番 内谷安宏 7番 美馬友子

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	山田徹
教育長	市川公雄	政策監	佐藤健司
総務防災課長	中瀬弘晴	企画交流課長	寺尾由美
税務課長	藤井小百合	住民課長	後藤信之
福祉課長	長友清美	農業振興課長	上村和也
建設課長	海川好史	上下水道課長	大上誉司
会計管理者	正瑞美佳子	教育委員会事務局長	石木正昭
勝浦病院事務局長	笠木義弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第1号）

開議宣言

- 日程第1 諸般の報告
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 議会運営委員会所管事務調査報告
- 日程第4 議案第1号 令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）について
- 日程第5 議案第2号 令和5年度勝浦町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第6 議案第3号 令和5年度勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第7 議案第4号 令和5年度勝浦町介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- 日程第8 議案第5号 令和5年度勝浦町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第9 議案第6号 令和5年度勝浦町簡易水道事業会計補正予算（第1号）について
- 日程第10 議案第7号 令和5年度勝浦町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について
- 日程第11 議案第8号 令和5年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）について
- 日程第12 議案第9号 勝浦町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第13 議案第10号 勝浦町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 議案第11号 勝浦町火災予防条例の一部を改正する条例について

- 日程第15 議案第12号 勝浦町災害対応基金条例について
- 日程第16 議案第13号 自ら考え自ら実践する地域づくり基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例について
- 日程第17 議案第14号 勝浦町杉の子基金条例を廃止する条例について
- 日程第18 議案第15号 勝浦町地域福祉基金条例を廃止する条例について
- 日程第19 議案第16号 勝浦町子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第20 議案第17号 勝浦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 日程第21 議案第18号 勝浦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 日程第22 議案第19号 勝浦町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第23 議案第20号 勝浦町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について
- 日程第24 議案第21号 勝浦町簡易水道管理条例及び勝浦町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第25 議案第22号 債権の放棄について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第25まで（第1号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（松田貴志君） おはようございます。

ただいまから令和6年勝浦町マラソン議会ひな会議を開きます。

日程に先立ち、福井議員から遅刻の届けが出ていますのでご報告いたしておきます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

会議等への出席状況を報告いたします。

各種会議等への出席状況は、お手元に配付の報告書のとおりです。

次に、法第121条第1項の規定により、説明者として出席を求めたのは、野上町長のほか、お手元に配付の出席要求書のとおりです。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第2，会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第128条の規定により、議長において指名いたします。

本ひな会議における会議録署名議員は、1番内谷議員，7番美馬議員の両名を指名いたします。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第3，議会運営委員会所管事務調査報告を議題とします。

議会運営委員会調査結果の報告を求めます。

節議会運営委員長。

○議会運営委員長（節 公一君） 議会運営委員会から報告いたします。

2月20日に議会運営委員会を開催し、ひな会議の日程について協議を行った結果、本日，4日，5日及び6日を議案審議とし，21日及び22日を一般質問，25日及び26日を議案審議，27日を予備日の予定といたしますので，ご協力よろしく申し上げます。

○議長（松田貴志君） ただいまの議会運営委員長の報告に質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（松田貴志君） それでは、議会運営委員会所管事務調査報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第4、議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）についてから日程第11、議案第8号、令和5年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）についてまでを一括して議題とします。

これより第一読会を開きます。

町長から、開会の挨拶並びに議案第1号から議案第8号までを一括して趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） おはようございます。

ちょっと長くなりますが、所信の表明をさせていただきたいと思えます。

令和6年は波乱に満ちた災害や事故での幕開けとなりましたが、3月を迎えることとなっても寒さ厳しい気候が続いている能登地域は、いまだ復興が進んでいない状況で、早く暖かな春の訪れが来ることを祈るばかりでございます。

2年前に突如始まったロシアのウクライナへの侵攻、さらに昨年、くすぶり続けていた中東地域のイスラエルとパレスチナ武装勢力の衝突をはじめとして世界の至るところで勃発する紛争は、人々の貴い命を奪い、生活基盤を破壊し、国際社会の平和と安定を脅かし続けています。遠く離れた日本においても、この戦争や紛争がもたらす影響は、世界の恒久平和のみならず、燃料費をはじめとする物価高騰など、私たちの生活に大きく影響しているところです。日本が過去の大戦の経験を生かし、国際社会の主要国として世界の安定と繁栄に担うべき役割があることを深く認識し、小さな規模の自治体勝浦町からも機会あるごとに世界平和の維持を訴えていかなければならないと思うところであります。

国内に目を向けてみますと、昨年5月にコロナ感染症の取扱いが5類に移行したことにより、コロナ禍で一喜一憂する生活からは落ち着いてきましたが、不安定な国際情勢などによる物価高騰、昨年は少し上向いた賃金ではありますが、物価指数の上昇から考えますと、依然として実質賃金の上昇までには至っていない状況と言えます。

勝浦町では、今まで国の物価高騰対応重点支援地方交付金を活用し、低所得者世帯

層への臨時給付金事業や世帯応援商品券配布事業などで町民の生活を支援してまいりました。今後、日本や徳島県、そして勝浦町が置かれている状況や町民の皆様の経済状態を十分に把握し、どのような支援や事業が必要となってくるのか視野に入れて施策を構築してまいりたいと考えております。

混乱する国際情勢の中で暮らす人々、能登半島地震で被災された避難している地域では、まだまだ安心して暮らせる生活や社会への回復には程遠い状況であると思いますが、勝浦町では2月24日にはビッグひな祭りが開幕し、この後、勝浦さくら祭りも着々と準備が進んでいるようで、一步ずつ春が近づいております。どうか、ウクライナなど戦火で焼け出された人々、地震で被災された能登地域の人々にも優しく包んでくれる春の暖かい気候が訪れることを願っております。

令和6年ひな会議開会に当たり、世界や日本国内で起こっている様々な事象を我が事と捉え、その経験を生かしながら安心して暮らすことができる、居心地がいいと感じることができるまちづくりを進めるに当たり、町政運営に臨む所信の一端を述べさせていただきます。

将来、子供たちがグローバルな社会で活躍することを目指したGIGAスクール構想事業に関しましては、タブレット端末の本格的な運用から4年目を迎え、現在のところ大きな支障はなく学習に活用されています。引き続き、学校現場と連携を取りながら、必要とするICT環境の整備や支援員を配置することでICTの効果的な活用対策を講じてまいります。

児童・生徒の学力向上については、新たに学習支援業務を行う学びサポーターを学校に配置し、きめ細やかな学習支援を行います。

学校施設の環境改善では、生比奈小学校では校舎の雨漏り対策として屋上防水改修事業、横瀬小学校では安全対策のため高圧設備改修事業、勝浦中学校では学校周辺環境改善のためグラウンド防球ネット延長事業を実施いたします。

程々の田舎にある勝浦町では、都市部との修学環境の格差を縮めるとともに、高校等への進学の実機を上げるため、昨年より高校生への修学支援制度を開始し、令和6年度においても1人当たり年間10万円の修学支援金を交付してまいります。

本町では、児童・生徒の健やかな体の発達を考えながら、地産地消を心がけた学校給食を提供し、おいしいと喜んでいただいております。令和5年度は、物価高騰など

の影響から給食費を値上げしましたが、同時に厳しい経済状況を考慮し、その対策として10月分から3月分までの給食費の無償化を実施いたしました。令和6年度においても継続することといたしております。

恐竜化石を生かしたまちづくりでは、勝浦町で恐竜化石が初めて発見された1994年から今年で30年目となります。この記念すべき年に、夏のイベントとして定着してきました恐竜フェスティバルを、今年も子供たちの夏休みを利用し開催いたします。VR体験や3Dポスター等、今までのフェスティバルから趣向を変えた企画について関係者との協議を進め、多くの来場者により楽しんでいただけるイベントにしたいと考えています。

また、地域おこし協力隊員の知識や経験を生かし、子供たちがふるさと勝浦に愛着が湧き、記憶に残るように恐竜について学ぶふるさと学習や、恐竜化石発掘事業で徳島県と連携し、勝浦町の恐竜化石を学術的に高めてまいります。

文化芸術振興では、令和6年度新規事業として、本格的な芸術に触れる機会づくりのため、公共ホール音楽活性化事業を実施いたします。この事業は、学校や施設を出会いの場とし、一流の音楽アーティストと地域の方々、特に児童・生徒が交流し、高度な音楽に触れる機会を提供するとともに、最後にホールでのコンサートを開催し、町民の皆様にも心豊かなひとときを過ごしていただこうと計画しております。

子ども阿波人形芝居教室や阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル in 勝浦などの伝統芸能の人形浄瑠璃、勝浦町文化祭や勝浦町芸能大会については、関係団体と協議、連携しながらレベルアップを検討し、次世代への継承につなげてまいります。

昨年は、特に親子連れの参加が多く見られたみんなの運動会につきましては、改めてコミュニティーの醸成の場になると実感いたしました。地域コミュニティーを維持継続、あるいは充実するために、運動やスポーツの機会は大きな効果があり、機会提供の在り方を検討してまいります。

今年、元日に発生した能登半島地震では、至るところで道路などの社会インフラの崩壊、破損が見られ、避難や災害対応に苦慮している状況です。勝浦町においても、自動車が経済活動や日常生活に欠かせない交通手段となっていることから、交通基盤である道路、特に県道や幹線町道は、より安全で安心して通行できることが求められます。町の交通動脈である県道整備につきましては、毎年県の担当部局に要請活動を

行っておりますが、さらに災害に強い整備を進めていただくよう要望してまいります。県道阿南勝浦線沼江バイパスの早期対策、県道徳島上那賀線の中角地区自歩道の整備促進、県道新浜勝浦線星谷工区の早期完成や了仙寺工区の着工を促してまいります。今後の事業要望として、早期に棚野地区の狭隘箇所について、地元と共に事業採択の要請活動を続けてまいります。町道整備である星谷橋架け替え事業は、用地測量や補償物件調査に続き、関係者の理解と協力を得ながら用地取得を進めることといたしております。

新築支援やリフォーム助成はニーズが多く、混乱のないよう募集方法を改善するとともに、移住者、定住者の増加を目指し、今後も継続してまいります。

空き家の利活用については、勝浦町空家等対策計画に沿って優良な空き家を洗い出し、活用を促進いたします。

横瀬地区の宅地分譲については、残区画の早期分譲を目指すとともに、分譲の状況を見ながら新たな候補地の調査を進めてまいります。

水防対策として、県の勝浦川のしゅんせつにつきまして、星谷橋、今山橋、勝浦中央橋周辺に続き、横瀬橋下流右岸側でのしゅんせつ事業が予定されており、洪水リスクの低減が見込めます。さらに、今山橋下流の勝浦川堤防強靱化については、右岸堤防補強工事が令和6年度前半での完成を目指し、事業が進んでおります。

人口減少とともに大きな課題である高齢化は、運転免許証の返納などで自動車を運転できない方が増加することから、より身近な公共交通が必要となってきます。勝浦町内では、定期運行の公共交通は民間バス会社1社で、路線維持のためバス会社への補助金を支出いたしておりますが、年々補助額が増額しており、財政負担が心配な状況でございます。

令和2年12月から実施している路線バス廃止区間のタクシー運賃助成事業については、昨年、一部事業内容の見直しをしましたが、今後も内容を検討しながら継続してまいります。また、昨年10月から実証実験として、もともと路線バスが通っていない地区におけるタクシー運賃助成事業については、利用状況データ収集のため、6年度も実証実験を継続いたします。

引き続き、公共交通空白地域の解消に向けた施策を実施し、新たな地域公共交通体制の整備を促進してまいります。

全国の中でも事業進捗が目覚ましい地籍調査事業は、予定どおり令和5年度に久国地区の現地調査を終了し、令和6年度からは新たな調査地区として星谷地区の現地調査を行います。星谷地区は、令和6年度から2年間で現地調査を完了する予定となっており、令和8年度からは新たな調査地区に取りかかる計画でございます。新地区は令和6年度に選定し、さらなる事業の加速を図ってまいります。

能登半島地震でも水道の復旧が遅れ、避難生活にも支障を及ぼしていることから、簡易水道事業では地震被災時にも破損しにくいように、老朽化した水道施設の計画的な更新を進めております。

中山横瀬地区では、更新事業に併せて、漏水対策として中村区域の配水管を整備いたします。未普及地域解消のため、西岡地区の配水池改修に併せ、給水区域を山田地区に拡張し、令和6年度は配水管、送水管給水工事を行います。

下水処理では、水と緑豊かな本町の自然環境を守り、快適な生活環境を創出するため、合併浄化槽の整備や、老朽化により機能低下した農業集落排水処理施設の更新による施設強化、機能回復とともに長寿命化を図ってまいります。

ごみの処理については、現在処理をお願いしている小松島市が、令和12年度中の稼働開始を目標とするごみ処理施設整備を計画しており、勝浦町はこの整備計画について、勝浦町を含めた広域行政として取り組んでいただきたいとの要望書を提出しております。広域処理について、今後も小松島市と協定し、協議検討を進めてまいります。

消防、救急体制についても同様に、小松島市との広域消防で常備化ができないか、粘り強く要望活動を継続してまいります。

農業振興については、近年、基幹作物のみかん価格が高い水準で安定し、農家の生産意欲は高まっていると思われます。しかし、高齢化による耕作放棄や担い手不足などの問題は、それ以上に深刻な状況にあります。このため、農作業の省力化や若い就農者を増やすため、かんきつ園地でのスマート農業実証事業としてドローンによる防除の実験を進めてまいりました。持続可能な勝浦農業とするため、過去の実証事業の結果を踏まえ、令和6年度において勝浦町版ドローンの仕組みづくりを進め、7年度に試験運用、8年度に本格運用を目標として、関係者と連携を取りながら取り組んでまいります。

人口減少、特に生産年齢人口は減少傾向が急激で、農業に限らず、人材や労働力は様々な産業で不足してきています。勝浦町では、昨年12月に、特定地域づくり事業、阿波かつうらワークス協同組合を発足いたしました。この特定地域づくり事業は、年間を通して様々な仕事を組み合わせて働くマルチワークという新しい働き方の仕組みを活用することで移住者やU I Jターンを促進し、人材不足や担い手不足という課題解決を目指すものです。阿波かつうらワークス協同組合では、令和6年4月から本格的に人材を雇用し、構成組合員が実施する事業への派遣を開始する予定としております。

勝浦町の観光事業は、町単独で長期滞在できる観光資源は十分でなく、周辺自治体との広域連携で事業を実施することが効果的です。このため、国の交付金を活用して、令和8年度までの継続事業として、小松島市などとの周遊観光ツアーを造成し、来年開催される関西万博を見据えた観光事業の情報を発信してまいります。

また、昨年が続いて、今年も3月下旬から4月上旬にかけて、台湾からの季節便就航に伴うインバウンドツアーを台湾の旅行会社が企画していることから、ビッグひな祭りやさくら祭り会場での受入れを予定しているところでございます。

道の駅を核とした交流、にぎわいづくり事業の808（ヤオハチ）農園プロジェクトや道の駅マルシェの開催では、恐竜イベントとコラボを進めるなど、交流人口の増加と町のPRに努めてまいります。

勝浦町の物産や資源を生かして進めてきた阿波かつうらブランド化事業では、令和6年度に勝浦中学校の生徒と地元企業とのコラボによる商品開発を計画するとともに、商品の販路拡大やPRをブラッシュアップして町内の経済効果につながるよう取り組んでまいります。

令和2年度から取り組んできたサテライトオフィス誘致事業では、2社進出があり、昨年連携協定を締結し、協定に盛り込まれた観光資源の活用による地域活性化やイベントでの連携をはじめ、ドローンを活用した農作業省力化、効率化、災害発生時における協力など、地元との連携を深める取組を進めてまいります。

コロナウイルス感染症の影響による制限や規制は、人々の生活様式だけでなく、社会活動などにも変化をもたらし、併せて価値観の多様性から、全てがコロナ禍以前の状況には戻らないように感じます。このような社会情勢を踏まえ、今年度、地域福祉

計画をはじめとして高齢者福祉計画、介護保険事業計画、障害福祉計画など、令和6年度から進める計画を策定いたしました。

人口減少や価値観の多様性は、地域コミュニティの弱体化につながり、人々との絆が希薄になっていくことが最も憂慮されます。特に、高齢者が社会活動や家から出る機会が少なくなり、身体を動かすことがなくなってくると、閉塞感や孤独感を抱いたり、フレイル化や認知症にもつながるおそれがあります。このため、勝浦町では、高齢者のフレイルや認知症を予防するため、脳わくわく・若返りトレーニング講座やイキイキ元気教室などを開催し、社会参加を促してまいりました。令和6年度から、体を無理なく動かすことが進むようシニアフィットネスにこにこ体操やスマホ教室を開催することとしており、人との触れ合いを大切に、高齢者の皆様が心も体も元気で過ごせるよう介護予防事業に取り組んでまいります。

令和4年度末に、旧デイケア施設コスモス跡を改修し移転した地域活動支援センターさるびあは、4月から稼働し、徐々に地域の人との交流が進んでいますが、さらに交流事業を充実できるよう医療、福祉の連携に努めてまいります。

昨年11月には、周辺施設も完成し、グランドオープンした勝浦病院では、コロナ禍で公立病院の役割の重要性が顕著となったことを受け、経営強化プランを策定し、入院、外来患者の増加を図るとともに、昨年開催した病院フェスティバルを検討し、町民に親しんでもらえる安心・安全、信頼の医療の提供を目指してまいります。

勝浦病院を中心に、保健・医療・福祉ゾーンとして地域の施設が着々と整備される中で、社会福祉法人から令和6年度特別養護老人ホーム喜楽苑改築事業の提案があったため、将来も高齢者に安心して勝浦町で暮らしてもらえるよう法人への財政支援をすることといたしました。勝浦病院に引き続き、多大な財政への負担ではありますが、この一帯が、医療と福祉が連携し、地域包括ケアシステムの拠点となることを期待いたします。

子育て世代への支援では、子どもはぐくみ医療費助成事業において、7歳から18歳までの医療費について一部自己負担があったものを全て無償化するとともに、18歳までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成し、子育て世帯への負担を軽減することといたしました。

昨年、子育て交流支援センターこどものひろばの遊具を新設いたしました。現

在，星谷運動公園においても遊具のリニューアルを進めており，より楽しんで利用できるよう整備いたしております。

子供を望み治療を希望する夫婦に寄り添い，妊娠前から切れ目のない子育て支援として不妊治療，不育症検査治療にかかる費用の一部助成を進めるなど，妊娠出産期の支援の充実を図ってまいります。

能登半島地震では，多くの家屋倒壊や社会基盤の損傷など，自らが被災した場合に勝浦町が取るべき対策について学ぶことができました。このため，勝浦町災害対応基金条例を今議会で上程し，実際に被災したときのためだけでなく，事前防災や被災軽減に向け，活用する所存でございます。

なお，道の駅周辺の防災公園整備に向け，令和6年度では町民の意見を伺う機会を設けるなど，具体的に取り組を始めてまいります。

ふるさと納税については，現在返礼品が200品目を超え，取り扱うサイト数も4サイトから8サイトに増えています。納税額も，1月31日現在で昨年度の3,713万円を上回り4,666万円と，1,000万円近くの増額となりました。引き続き，ふるさと納税の新規返礼品や内容，質の充実を図り，まちづくりと寄附金額の向上に生かしてまいります。

D Xの推進は，これからの行政運営にとって，なくてはならない喫緊の課題となっております。令和5年度から，外部人材を活用したC I O補佐官業務を委託し，各課のI C T関連システム業務への指導，助言を求めるなど，D X推進に向けた取組を始めています。令和6年度においては，本格的に基幹系業務システムの標準化に向けた対応をC I O補佐官と共に推進してまいります。

昨年10月に，国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した勝浦町のポータルアプリ，阿波かつうら情報アプリを導入しました。突発する災害への対応や早急な行政情報の発信のため，住民の認知度，活用度を高めるよう，一層の情報配信に努めてまいります。

D Xの推進は，行政のみならず，町民の生命や財産の保護，地域の経済活動の発展など有効活用できると確信し，地域社会のデジタル化に向けて推進してまいります。

今年，元日の能登半島地震は，遠く離れた北陸の地域とはいえ，過疎の課題を抱える勝浦町によく似た状況もあり，教訓として行政に生かさなければならないという思

い、また2日の航空機事故では、日頃の業務の中で怠ってはならないことへの姿勢を学ぶことができました。

不幸な事、起こってはならないことですが、大事なことは、そのことを一過性で終わりにすることなく、教訓として将来に生かすことが重要と考え行政運営に努めてまいりますので、議員各位には引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、議案の提案説明をさせていただきます。

議案第1号から議案第8号までの提案理由の説明をさせていただきます。

議案第1号は、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）についてであります。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億2,765万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を41億3,893万8,000円とするものでございます。

議案第2号は、令和5年度勝浦町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてであります。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,200万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億4,987万1,000円とするものでございます。

議案第3号は、令和5年度勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）についてであります。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ37万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を19万9,000円とするものでございます。

議案第4号は、令和5年度勝浦町介護保険特別会計補正予算（第3号）についてであります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ68万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を10億6,778万8,000円とするものでございます。

議案第5号は、令和5年度勝浦町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてであります。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ350万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億2,459万6,000円とするものでございます。

議案第6号は、令和5年度勝浦町簡易水道事業会計補正予算（第1号）についてで

あります。

資本的収入及び支出の補正額につきましては、収入の予定額から1,570万円を減額し1億74万円とし、支出の予定額から1,602万5,000円を減額し1億2,401万円とし、収入額が支出額に対して不足する額2,327万円については、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金において補填するものといたします。このほか、債務負担行為をすることができる事項等及び企業債の限度額につきましては記載のとおりといたします。

議案第7号は、令和5年度勝浦町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）についてであります。

資本的収入及び支出の補正額につきましては、収入の予定額に3,689万1,000円を追加し7,438万9,000円とし、支出の予定額に3,689万2,000円を追加し7,439万1,000円とし、収入額が支出額に対して不足する額2,000円につきましては、過年度損益勘定留保資金で補填するものといたします。また、企業債の限度額につきましては記載のとおりといたします。

議案第8号は、令和5年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）についてであります。

収益的収入及び支出の補正額につきましては、収入及び支出の予定額からそれぞれ2,607万2,000円を減額し、7億8,153万6,000円とするものでございます。また、資本的収入及び支出の補正額につきましては、収入の予定額に4,636万円を追加し1億6,016万円とし、収入額が支出額に対して不足する額808万6,000円につきましては、当年度損益勘定留保資金で補填するものといたします。このほか、企業債の限度額、議会の議決を経なければ流用することのできない経費及び棚卸資産の購入限度額につきましては記載のとおりといたします。

以上、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、ご決議賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明とさせていただきます。どうかよろしく申し上げます。

○議長（松田貴志君） 町長の説明が終了しました。

続いて、関係各課長から詳細説明を求めます。

まず、議案第1号の全体説明と総務防災課、出納室、議会事務局関係について、中

瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 改めましておはようございます。

議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）についてでございます。

まず、全体を説明させていただきます。

第1表歳入歳出予算補正でございます。

こちらのほう、歳入の部、1款町税、1項町民税、補正額1,073万9,000円の減額。

4款配当割交付金、1項配当割交付金80万円の減額。

5款株式等譲渡所得割交付金、1項株式等譲渡所得割交付金191万円の増額。

6款法人事業税交付金、1項法人事業税交付金208万8,000円の増額。

7款地方消費税交付金、1項地方消費税交付金833万5,000円の減額。

8款環境性能割交付金、1項環境性能割交付金160万2,000円の増額。

10款地方交付税、1項地方交付税6,195万6,000円の増額。

11款交通安全対策特別交付金、1項交通安全対策特別交付金60万円の減額。

12款分担金及び負担金、1項負担金500万7,000円の減額。

13款使用料及び手数料、1項使用料53万4,000円の減額。

14款国庫支出金、1項国庫負担金3,283万6,000円の減額。

2項国庫補助金837万5,000円の増額。

3項委託金218万2,000円の減額。

15款県支出金、1項県負担金1,506万円の減額。

2項県補助金7,339万7,000円の増額。

3項県委託金158万8,000円の減額。

18款繰入金、1項基金繰入金3億1,051万6,000円の減額。

19款繰越金、1項繰越金9,315万1,000円の増額。

20款諸収入、3項雑入1,272万2,000円の増額。

21款町債、1項町債534万円の増額。

歳入合計補正額1億2,765万6,000円の減額でございます。

続きまして、歳出の部でございます。

1款議会費、1項議会費149万円の減額。

2 款総務費， 1 項総務管理費4,692万6,000円の減額。

2 項企画費893万円の減額。

3 項徴税費206万8,000円の増額。

4 項戸籍住民基本台帳費755万9,000円の増額。

5 項選挙費862万8,000円の減額。

7 項監査委員費30万円の減額。

3 款民生費， 1 項社会福祉費3,967万4,000円の減額。

2 項児童福祉費3,969万1,000円の減額。

4 款衛生費， 1 項保健衛生費1,661万4,000円の減額。

2 項清掃費312万2,000円の減額。

5 款農林水産業費， 1 項農業費8,420万4,000円の増額。

6 款商工費， 1 項商工費300万1,000円の減額。

7 款土木費， 1 項土木管理費30万円の減額。

2 項道路橋りょう費214万6,000円の減額。

3 項河川費260万円の減額。

4 項住宅費783万1,000円の減額。

8 款消防費， 1 項消防費507万1,000円の減額。

9 款教育費， 1 項教育総務費1,079万円の減額。

2 項小学校費1,080万4,000円の減額。

3 項中学校費477万9,000円の減額。

4 項社会教育費358万4,000円の減額。

5 項学校給食費20万6,000円の減額。

10 款災害復旧費， 1 項公共土木施設災害復旧費， こちらのほうは財源振替となっておりますので補正額の増減はございません。

それから， 2 項農林水産施設災害復旧費， こちらのほうも財源振替となっておりますので補正額は0となっております。

11 款公債費， 1 項公債費500万円の減額。

歳出合計補正額 1 億2,765万6,000円の減額でございます。

歳入歳出補正後の額といたしまして， 41億3,893万8,000円とさせていただきます。

ます。

続きまして、第2表繰越明許費の補正でございます。

こちらのほうは、繰越明許費の追加をさせていただき、限度額を設定させていただきます。

2款総務費，3項徴税費，定額減税に伴う税システム改修事業206万8,000円。

4項戸籍住民基本台帳費，住民票等氏名振り仮名対応事業834万9,000円。

3款民生費，2項児童福祉費，勝浦町第3期子ども・子育て支援事業計画策定事業160万3,000円。

4款衛生費，1項保健衛生費，新型コロナワクチン接種事業49万5,000円。

5款農林水産業費，1項農業費，地籍調査事業1億2,010万円。

7款土木費，2項道路橋りょう費，道路改良事業1,512万1,000円。

同じく，道路橋りょう費，橋りょう長寿命化事業1,964万3,000円。

同じく，道路橋りょう費，星谷橋架け替え事業1,776万8,000円。

4項住宅費，公営住宅長寿命化計画策定事業627万円。

9款教育費，2項小学校費，小学校プール修繕事業169万8,000円。

繰越明許費補正限度額合計1億9,311万5,000円とさせていただいております。

続きまして、地方債の補正でございます。

第3表地方債補正，追加と変更がございます。

まず，追加でございます。

起債の目的，補正予算債，限度額980万円，一般単独公共土木債1,100万円，緊急浚渫推進事業債200万円，合計2,280万円を増額をさせていただいております。

続きまして，変更でございます。

過疎対策事業債（ハード事業）でございます。補正限度額を1,500万円減額し，限度額を1億510万円とさせていただいております。続きまして，過疎対策事業債（ソフト事業）1,050万円を増額し，5,470万円の限度額とさせていただきます。現年公共土木債90万円の減額，限度額2,910万円，現年林道施設債890万円の減額，限度額60万円，臨時財政対策債316万円の減額，限度額1,084万円とさせていただいております。

起債の方法，利率，償還の方法につきましては，追加，変更とも当初予算同様とさせていただきます。

総括については以上でございますが、続きまして、総務防災課、議会事務局、出納室の減額につきましてご説明をさせていただきます。

全体としては、全て減額でございます。

予算書に従いまして、款、項、目の順に説明をさせていただきます。

まず、1款議会費、1項議会費でございます。こちらのほうは、1目議会費でございまして、補正額149万円の減額でございます。主なものといたしましては、期末手当、普通旅費、筆耕翻訳委託料、実績見込みによる減額でございます。期末手当につきましては昨年町議会議員選挙において新たに議員となった者の在任期間によるもの、旅費につきましては行政視察の貸切りバスを利用したことによるもの、また筆耕翻訳委託料につきましては入札結果による単価の減額ということで、149万円の減額とさせていただきます。

続きまして、2款総務費、1項総務管理費、1目総務管理費でございます。こちらのほうは、主なものといたしまして、特別職の給料、職員給料、その他手当、会計年度任用職員の給料、人件費に伴う大きな減額とさせていただきます。補正額4,382万5,000円の減額とさせていただきます。

続きまして、同じく総務管理費の2目財産管理費でございます。こちらのほうは154万7,000円の減額とさせていただきます。主なものといたしましては、光熱水費、電気代の減額100万円、それからこちらのほうは出納室の自動車、それから建物の保険料の実績見込みによる54万7,000円の減額とさせていただきます。

4目諸費でございます。こちらのほうは40万円の減額。こちらのほうは、防犯灯の電気代40万円の減額とさせていただきます。

同じく、7目情報通信設備管理費、こちらのほうは備品購入費80万4,000円を減額をさせていただきます。入札等による実績に伴う減額でございます。

続きまして、2款総務費、7項監査委員費、1目監査委員費でございます。30万の減額、こちらのほうは、監査委員勝名地区監査連絡協議会で本町が当番町でございまして、研修会を本町で行ったため旅費等が不要になったもの、30万円の減額とさせていただきます。

それから、8款消防費、1項消防費、1目非常備消防費でございます。こちらのほうは、共済費、社会保険料を実績に見込む減額、それから光熱水費15万円を実績に見

込み減額をさせていただいております。

それから、同じく消防費の3目災害対策費でございます。補正額437万5,000円の減額でございます。こちらのほうは、主なものといたしまして、防災監の任期途中による辞職による減額でございます。

それから、11款公債費、1項公債費でございます。1目元金につきましては、財源振替をさせていただいております。

それから、2目利子につきましては、利子償還金500万円の減額とさせていただいております。

総務防災課、出納室、議会事務局につきましては、減額のための補正とさせていただいております。

私からは以上です。よろしく願いをいたします。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の企画交流課関係について、寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） おはようございます。

議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）企画交流課分についてご説明をいたします。

歳入歳出全て減額補正となっております。

初めに、2款総務費、2項企画費、1目企画費でございます。1節の報酬、9節の旅費につきましては、いずれも会議開催回数や出張の回数実績による減額となっております。続いて、10節の需用費、11節役務費、12節委託料についてですが、こちらは全町民に向けての商品券事業の実績に伴う印刷製本費、通信運搬費、委託費の減額で合計238万1,000円の減額となっております。これに伴い、歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も減額となります。続いて、18節の負担金、補助及び交付金ですが、定住促進賃貸住宅家賃助成ですが、こちらは、新規3世帯見込みのところ2世帯であったため38万2,000円の減額です。地方生活実現移住支援金は、当初2件予定のところ1件の減額となっております。それから、これに伴い、徳島県のわくわく移住支援事業補助金も減額となります。阿波かつうら未来応援事業補助金につきましては、数件の相談はあったものの応募に至らず300万円の減額です。勝浦町特定地域づくり事業推進交付金につきましては、補正時に5か月の期間で積算を行って

おりましたが、実際の申請は4か月となったため59万1,000円の減額となり、歳入の特定地域づくり事業推進交付金も減額いたします。

続いて、6款の商工費、1項商工費、1目商工振興費でございます。まず、旅費につきましましては、出張回数の実績やウェブ会議への振替による30万円の減額、それから12節委託料、阿波かつうらブランド化事業で、こちらも20万1,000円の減額となります。これに伴い、地方創生推進交付金も減額となります。18節の負担金、補助及び交付金で、商工会の補助金につきましましては、利子補給分が37万7,000円の減額、サテライトオフィス支援補助金につきましましては、当初3件予定のところ2件であったため100万円の減額となり、これに伴い、歳入のデジタル田園都市国家構想推進交付金も減額となります。

続いて、同じく商工費の2目観光費でございます。こちらの旅費につきましましては、会議の開催がオンライン開催に振り替わったために35万6,000円の減額となります。

同じく、商工費の3目地域交流推進費でございます。職員手当につきましましては、会計年度任用職員の通勤手当が該当でなかったため22万4,000円の減額、それから使用料及び賃借料につきましましては、若者の地方体験事業の経費となっておりますが、昨年度から県補助金を活用して活動を行っていたため22万3,000円の減額となりました。12節の委託料は、道の駅の情報館浄化槽の清掃処理委託ですが、実績により10万円の減額となります。18節の負担金、補助及び交付金は、イベント補助金の申請が当初4件の見込みのところ3件であったため、20万円の減額となりました。

以上、企画交流課からの説明を終わります。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の税務課関係と議案第2号及び議案第5号について、藤井税務課長。

○税務課長（藤井小百合君） おはようございます。

議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算の税務課関係について説明をさせていただきます。

まず、歳入でございますが、1款町税の現年度分個人町民税1,073万9,000円の減額は、コロナの影響などで令和4年中の所得の落ち込みによるものでございます。

14款国庫支出金の国民健康保険基盤安定費負担金30万円の減額、15款県支出金の国民健康保険基盤安定費負担金の49万4,000円の減額、その下の後期高齢者医療保険基

盤安定負担金103万円の減額は、全て決算見込みによるものでございます。

20款諸収入の後期高齢者医療返納金1,198万7,000円の増額でございます。これは、令和4年度の後期高齢者の医療費の負担額が確定いたしましたので、精算の結果、徳島県後期高齢者医療広域連合から返納されてくるものでございます。

次に、歳出でございますが、2款総務費、3項徴税費、2目賦課徴収費、システム改修委託料206万8,000円の増額でございます。

マネジメントシートで説明をさせていただきます。

定額減税に伴う税システムの改修でございます。

令和6年度分の個人住民税所得割額から、納税者及び配偶者を含めた扶養親族1名につき1万円の減税が実施されることにより、税システムの改修が必要となります。令和6年度個人住民税の納税通知書発布に向けて適正な課税を行うために基幹系税システムの改修を行います。事業費は、改修作業費用188万円、消費税18万8,000円、合計206万8,000円でございます。財源は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金160万1,000円、一般財源46万7,000円でございます。スケジュールは、補正予算を議決いただいた後に契約を行い、4月初旬までにシステム改修を完了する予定としております。令和6年度への繰越し事業となります。

予算書のほうに戻ります。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉費、国民健康保険特別会計繰出金31万7,000円の減額、3款民生費、1項社会福祉費、5目後期高齢者医療費の後期高齢者医療特別会計基盤安定繰出金137万4,000円の減額でございますが、どちらも決算見込みによる減額となっております。

次に、議案第2号、令和5年度勝浦町国民健康保険特別会計補正予算について説明をさせていただきます。

歳入でございます。

1款国民健康保険税の一般被保険者国民健康保険税合計1,057万4,000円の減額は、コロナの影響などによる所得の落ち込みによるものでございます。

4款県支出金の保険給付費等交付金89万5,000円の増額は、実績見込みによるものでございます。

6款繰入金の一般会計繰入金31万7,000円の減額は、繰入れ基準に基づき繰入額が

確定したためでございます。

7款繰越金188万9,000円の減額は、令和4年度からの繰越金確定によるものでございます。

8款諸収入12万1,000円の減額は、検査料の一部負担金の減です。特定健診の追加で行っている頸部エコー、腹部エコーの受診者が少なかったためでございます。

次に、歳出でございます。

1款総務費の合計126万3,000円の減額は、事務費の決算見込みによるものでございます。

2款保険給付費の出産育児一時金50万円の減額は、実績見込みによるものでございます。今年度の国保の被保険者の出産は2件となる見込みです。

同じく、2款の保険給付費の傷病手当金10万円の減額は、新型コロナウイルス感染による傷病手当金の申請が今年度はゼロ件となる見込みです。

5款保健事業費の疾病予防費20万2,000円の減額と特定健康診査等事業費138万2,000円の減額の主な理由は、特定健診及び特定健診の追加項目であります頸部エコー及び腹部エコーの受診者が当初見込みより少なかったためでございます。

8款諸支出金の一般被保険者保険税還付金80万円の減額は、年度を遡っての資格の喪失や所得の修正が少なかったためでございます。

同じく、8款諸支出金の返還金75万円の減額は、県への返還金が確定したためでございます。

8款諸支出金の勝浦町病院事業特別会計繰出金116万8,000円の増額につきましては、病院会計事業のほうで説明があると思いますので、省略させていただきます。

続きまして、議案第5号、令和5年度勝浦町後期高齢者医療特別会計補正予算について説明をさせていただきます。

1款後期高齢者医療特別徴収保険料499万7,000円の減額、普通徴収保険料現年度分286万9,000円の増額、全て徴収見込みによるものでございます。

3款繰入金の保険基盤安定繰入金137万4,000円の減額は、決算見込みによるものです。

続きまして、歳出です。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、後期高齢者医療広域連合保険料等は350万

2,000円の減額、決算見込みによるものでございます。被保険者から徴収した保険料に保険基盤安定繰入金等を加算して広域連合に振込を行う分です。

以上、税務課関連の説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の住民課関係と議案第3号について、後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） おはようございます。

議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算、住民課関係についてご説明を申し上げます。

最初に、増額予算の説明をいたします。

住民票等の氏名の振り仮名対応業務についてでございます。この予算は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律による社会保障・税番号制度の導入等に係る地方公共団体の情報システムの整備のため、住民票等に氏名等の振り仮名を記載し、ひいてはマイナンバーカードへの氏名等の振り仮名及びローマ字表記の実現を図ることを目的としております。氏名の振り仮名を管理しまして、戸籍の付票、住民票に記載を行うものでございまして、振り仮名の確認は通知を発送し、申請期間に住民の皆さんからの申出に基づき実施いたします。申出がなかった場合には、市区町村長が職権で記載を行うこととなります。振り仮名の確認は令和7年度予定でございますが、国から令和5年度中に補助金申請、契約締結まで手続を進めるよう指示がございまして、令和5年度の補正予算におきまして予算計上するものでございます。この記載事項の氏名の振り仮名の追加は全国の自治体で実施することが定められておりまして、財源といたしまして国の補助金を充当する予定としております。

減額予算は、予算書の歳出のほうでご説明申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、8目広報費でございます。こちらのほうは、実績に伴います広報印刷、また配布委託料の減額でございます。

2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費でございます。こちらのほう、実績に伴います文字同定対応作業44万円の減額でございます。

26ページから28ページにおきましては、4月の徳島県知事選挙、6月の町議会議員選挙、10月の参議院議員選挙におきます、それぞれ実績に伴う各科目の減額ござい

ます。

4款衛生費，2項清掃費，3目じんあい処理費でございます。実績に伴うごみ焼却委託料及び焼却残渣処理委託料の減額でございます。5年度ごみ焼却量970トンを見込んでおります。

続きまして，議案第3号，令和5年度勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算についてご説明申し上げます。

1款住宅費，1項住宅新築資金等貸付費，1目貸付管理費でございます。事務委託料の減額でございます。滞納者調査の委託料で減額となったものでございます。

増額につきましては，減額に伴います一般財源分を予備費に計上したものでございます。

以上，住民課関連の予算につきましても説明でございます。よろしく申し上げます。

○議長（松田貴志君） 議事の都合により，一旦ここで休憩をしたいと思います。

午前10時46分 休憩

午前10時59分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

続いて，議案第1号の福祉課関係と議案第4号について，長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）について福祉課関係の詳細説明をさせていただきます。

まずは，増額のほうをマネジメントシートで説明させていただきます。

歳出，3款1項2目障害者福祉費でございます。目的は，令和6年度の障害福祉サービス等の報酬改定に対応するため，システムの改修を行うものでございます。事業内容は，報酬改定の方針に沿ってサービス種類の追加や申請書等帳票の様式の変更，また利用者負担額などのシステムの改修を行います。事業費は，システム改修委託料として82万5,000円で，財源は国補助金を2分の1充当いたします。

続きまして，歳出，3款2項1目児童福祉総務費でございます。目的は，地域子育て支援拠点事業における交付金の基準額が改正になったため，増額するものでございます。事業内容は，地域子育て支援拠点として子育てサロンこあら組へ委託料を支払っておりますが，1施設当たり単価が変更になったため，その差額の24万1,000円

を追加するものでございます。事業費の3分の2は、国、県の交付金を充当します。

続きまして、歳出、3款2項1目児童福祉総務費でございます。目的は、保育所におけるICT化を推進し、保育士の業務負担の軽減を図るとともに、保育所における事故防止等の体制を図るものでございます。事業内容は、ICT等を活用する業務として、保護者との連絡及び子供の登降園の管理等業務を追加するシステムの導入をいたします。事業費は、みかん保育園、こすもす保育園とも30万円の補助で、合計60万円の補正をお願いするものです。財源は、国補助金2分の1を充当します。

同じく、3款2項1目児童福祉総務費です。保育関連事業実績の精算により返還を行うものです。内訳は、①子どものための教育・保育給付交付金88万9,755円は保育所の運営費ですが、子供数が見込みより少なかったことによる返還、②子育てのための施設等利用給付交付金が8万4,000円、これは認可外保育の利用がなかったことによる返還になります。③子ども・育て支援交付金（一般分）72万3,000円、これは病児保育等の利用見込みが実績より少なかったことによる返還、特例措置分33万3,000円は、コロナ感染症対策のため改修を見込んでおりましたが、こあら組におきましては実績がなかったため返還になります。

同じく、3款2項1目児童福祉総務費です。令和4年度に子育て世帯生活支援特別給付金を支給しましたが、実績額が確定したことにより返還金が発生したことで、翌年度精算のため本年度返還することになります。金額は、給付費と事務費を合わせて96万2,000円でございます。

続きまして、3款2項2目子育て支援事業費です。学童保育関連の事業実績により返還を行うものです。内訳は、①子ども・子育て支援交付金（特定分）は学童の運営費ですが、見込みより児童数が少なかったために185万5,000円の返還、特別措置分はコロナ感染症予防による改修や備品購入の実績により25万7,000円の返還、②保育士等処遇改善臨時特例交付金は、学童の開所日日数が見込みより減少したことにより5万2,800円の返還、③新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、学童保育に係る交付金を見込んで受入れしておりましたが、実績により精算したため2万5,900円の返還になります。

続きまして、3款2項3目子どもはぐくみ医療費です。ゼロ歳から18歳の年度末までの子供を対象に医療費の一部を助成しております。5年度につきましては、コロナ

感染症が5類になったことやインフルエンザの流行が早かったことなどで、医療費が当初より増える見込みとなっております。200万円の補正をお願いするものでございます。財源は、県負担金を2分の1充当します。

増額補正は以上になります。

続きまして、減額の補正につきまして、予算書に沿って100万円以上の大きな減額について説明をさせていただきます。

3款1項2目障害者福祉費，19-12重度医療費349万円の減額です。減額の理由は、受給者が死亡したことで減少しました。また、新規受給者が少なかったことにより、当初見込みより減額となっております。19-18障害者自立支援給付費2,301万3,000円の減額です。こちらの主な理由は、対象者の死亡があったためと生活保護者の入院分を見込んで算定しておりましたが、対象者がなかったため減額となっております。19-24障害児通所支援事業費278万3,000円の減額，こちらは当初見込みより通所日数が少なかったための減額です。

次に，3目19-27養護老人ホーム入所措置費695万円の減額，こちらは該当者の死亡により減額となっております。

3款2項1目児童福祉総務費，18-285子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）175万円の減額，こちらは子育て世帯の非課税世帯に5万円の給付をした事業ですが，家計急変等見込んでおりましたが，該当者がなかったことよって減額しております。18-289新型コロナウイルス感染対策事業費補助金440万8,000円の減額，こちらは各保育園のコロナウイルス感染対策として予算見込みをしてありましたが，国の補助対象の見直しにより減額となっております。18-316保育所運営費負担金2,022万9,000円の減額，こちらは乳児の入園を見込んでおりましたが，予定より入所が少なかったことで減額になっております。18-326保育所運営費補助金410万9,000円の減額，こちらは途中入所のため保育士を確保しておりましたが，入所者が少なく当初の保育士数で賄えたため減額となっております。18-366施設型給付費434万6,000円の減額，こちらは広域入所の該当者がいなかったために減額となっております。

続きまして，2目18-289新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金200万円の減額，こちらのほうは学童に係るコロナ感染対策として予算見込みをしておりました

が、国の補助対象見直しにより減額となっております。

次に、4款1項1目保健衛生費、12-313予防接種等委託料1,290万円の減額です。こちらは、小児や高齢者の定期予防接種、またコロナワクチン接種に係る委託料です。子宮頸がんワクチンなど接種者が見込みより少なかったため、実績による減額となっております。

続きまして、令和5年度介護保険特別会計補正予算（第3号）について説明させていただきます。

介護保険については増額補正のみになりますので、マネジメントシートで説明をさせていただきます。

4款2項1目一般介護予防事業費です。高齢者健康づくり推進事業として勝寿会に委託して行っていますみかんの郷でのデイサービスに係る委託料です。当初見込みより利用者が増えたため、追加補正させていただくものでございます。内容としましては、介護予防事業としてストレッチ等の運動や利用者との交流など、デイサービスで行っております。新型コロナウイルスが5類になったことで利用者が増えたことにより、延べ310人分の68万2,000円をお願いするものでございます。財源は、交付金や繰出金等を充当いたします。

以上で福祉課からの説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の農業振興課関係について、上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 農業振興課分の議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）について説明をいたします。

予算ページが35ページで、まず最初に増額分の説明をさせていただきます。

マネジメントシートで説明をいたします。

国土調査事業で、科目が5款1項13目国土調査事業費になります。目的が地籍の明確化になります。令和5年度国補正予算による事業採択で、令和6年度事業を前倒しして令和5年度補正予算の計上による事業で、事業料が1億2,010万円で、補正額が現年予算と差し引いて追加額が1億1,355万4,000円になります。そのまま令和6年度に繰越しをいたします。主な経費といたしまして、12節委託料で地籍調査業務委託費で1億1,361万円です。事業の概要として、調査地区は星谷1地区の前半工程、現地

立会及び令和5年度で実施した久国1地区、坂本4、5、6地区、坂本8地区の後半工程、地籍図の作成、閲覧です。

次のページに図面を掲載しております。

勝浦町全体の進捗率の図面です。緑色が星谷地区で、薄い緑色が久国1地区、坂本4、5、6地区、坂本8地区となっております。

続きまして、減額の説明をさせていただきます。

予算書で33ページからになります。

5款1項1目農業委員会費で119万2,000円の減額で、委員報酬等になります。実績見込みによる減額になります。

次に、2目農業総務費で813万5,000円の減額で、主なものとして新規就農総合支援事業給付金330万円、新規就農者初期投資促進事業433万5,000円等になります。実績見込みによる減額でございます。

次に、3目農業振興費で1,149万1,000円の減額で、主なものとして備品購入費が250万3,000円、負担金、補助及び交付金が845万7,000円、これの内訳が町単独農業振興事業補助金511万円、新規就農総合支援事業給付金100万円、町単独農業ブランド化対策事業補助金100万円、柑橘園地利用最適化推進事業補助金100万円等になります。実績見込みによる減額でございます。

次に、6目日本型直接支払事業費560万2,000円の減額で、主なものとして負担金、補助及び交付金、中山間地域等直接支払交付金が220万円、多面的機能支払交付金223万8,000円で、443万8,000円になります。実績見込みによる減額になります。

次に、7目土地改良事業推進費291万2,000円の減額になります。負担金、補助及び交付金、共同施設管理費負担金、県営事業が291万2,000円で、実績見込みによる減額になります。

次に、19目6次産業化推進費で31万7,000円の減額です。需用費が31万7,000円になりまして、実績見込みによる減額となっております。

農業振興課関係は以上です。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の建設課関係について、海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） それでは、議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）の建設課関係の補正予算の詳細説明をいたします。

先に、増額補正予算から説明をいたします。

7款2項4目の道路改良費でございます。

坂本川、左岸側に位置する町道横瀬与川内線、歩道4号橋の張出床版4か所を取替えるため、455万4,000円の工事請負費を増額補正提案するものです。特定財源は、国交付金を188万6,000円、地方債を160万円充当いたします。工程は、予算繰越し、本年9月発注、来年の3月完了を予定をしております。また、4目の道路改良費では、増額補正と併せて財源振替を行うものでございます。

横瀬与川内線には、東側から1号橋、2号橋、3号橋、4号橋と4か所に張り出しの歩道が設置されております。なお、1号橋につきましては、改善センターの北側に位置しておるといところでございます。

本年度の当初予算では、1号橋、3号橋、4号橋の修繕設計や工事費を予算化しておりましたが、当初国の配当額が少なかったことから、3号橋、黒枠で囲んでおりますが、その箇所のみ修繕工事を実施しておりました。このような中、国の補正予算を追加要望し、追加内示があったことから、当初予算分、黄色の枠で囲んであったところと今回の補正予算分、緑色で表示しておるところでございますが、併せて修繕工事の実施を考えております。実施設計時に修繕が必要になった箇所が新たに判明をしたということでございます。今回の補正予算提案し、取替え床版のクラック状況という状況でございます。

以上が増額補正予算の説明となります。

続きまして、減額補正予算につきましては、事項別明細の3、歳出で説明をいたします。

5款1項11目広域農道整備事業費でございますが、18節負担金、広域農道負担金を100万円、県事業費の減により不用額を実績見込みにより減額をいたします。歳入につきましては、過疎債を同額を減額をいたします。

12目農免農道整備事業費でございますが、18節負担金、農免農道負担金43万円、これも県事業費の減により不用額を減額をいたします。歳入につきましても、過疎債を40万円減額をいたします。

17目農業基盤整備促進事業費でございますが、12節委託料、機能保全計画策定委託料を90万円、請負差額等により不用額を減額をいたします。歳入につきましては、国

費割当額等により100万円の減額をいたします。

続いて、7款1項1目土木総務費でございますが、合計30万円の会計年度任用職員手当を実績見込みにより減額をいたします。

2項1目道路橋りょう維持費でございますが、2節給料、会計年度任用職員給料につきまして30万円を実績見込みにより減額をいたします。

3目県単道路改良費でございますが、14節工事請負費640万円につきましては、沼江バイパス山腹崩壊のため、残土場、門扉やフェンス設置等の管理施設整備時期が見通せないことから減額をいたします。

続いて、4目道路改良費でございますが、さきにマネジメントシートによって説明した事業でございます。道路改良事業のほかに、橋りょう長寿命化事業と星谷橋架け替え事業を集計した予算額を示しておるということでございます。さきに説明しておるため、省略をいたします。

続きまして、3項1目河川維持費でございますが、会計年度任用職員人件費120万円の不用額を実績見込みにより減額をいたします。また、財源振替でございますが、河川、土砂取り除き業務委託料の特定財源といたしまして、緊急浚渫推進事業債200万円を充当いたしております。

2目県単急傾斜地崩壊対策事業費でございますが、12節委託料、測量設計委託料40万円の不用額を減額をいたしております。

3目急傾斜地崩壊対策事業費でございますが、18節負担金、県営急傾斜地崩壊対策事業負担金を100万円でございますが、県事業費の減により不用額を減額をいたしております。

4項2目一般住宅費でございますが、木造住宅耐震事業、また老朽危険空き家除却支援事業、それから住宅新築・改修支援事業の3事業の減額補正でございます。18節負担金、老朽危険空き家・空き建築物除却補助金については108万5,000円の減額、これは1件の補助金を減額します。それから、耐震シェルター普及推進モデル事業補助金140万円、これも1件相当です。それから、危険ブロック塀撤去補助金34万6,000円、これも1件分の補助金ということとなります。それから、移住・定住支援住宅新築補助金500万円、これについては5件分ということで、合計783万1,000円の不用額を実績見込みにより減額するということといたします。歳入といたしまして

は、国庫支出金122万7,000円、過疎債500万円をそれぞれ減額をいたします。

10款1項2目公共土木施設災害復旧費でございますが、1,010万円を一般財源から地方債へと財源振替をいたします。

最後に、10款2項2目林道施設災害復旧費でございますが、国庫支出金895万7,000円を増額し、地方債を890万円の減額と一般財源マイナス5万7,000円ということで財源振替をいたしております。

以上が建設課の詳細説明でございます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の上下水道課関係と議案第6号及び議案第7号について、大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）について上下水道課分を説明させていただきます。

まず、歳出より説明いたします。

最初に、4款2項5目合併浄化槽推進費、浄化槽整備予定数の実績による合併浄化槽設置整備事業補助金132万円の減額でございます。令和5年度は、新たに宅内配管工事の補助メニューを追加し、合併浄化槽10基の整備を計画し、ホームページや広報等を活用し、住民に周知を進めてきました。結果といたしましては、9基の成果が上がりましたが、あと一基達成できませんでしたので、その分を減額させていただきます。また、それに伴い、歳入も国庫補助金が37万1,000円、県補助金が31万8,000円、合計68万9,000円の減額となりました。

以上で議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）の上下水道課分の説明を終わります。

続いて、令和5年度勝浦町簡易水道事業会計補正予算（第1号）について説明をさせていただきます。

先に、減額する予算を説明させていただきます。

支出で、予算科目1款1項9目沼江掛谷地区建設改良費1,602万5,000円、減額の理由といたしましては、昨年5月に起こりました沼江バイパス終点側でのり面崩壊があり、県より終点側復旧工事を優先するため、当初バイパス起点側で予定しておりました県との合同工事が実施できなくなったためでございます。そのため、借入れを予定しておりました企業債1,570万円が不用となりますので、減額させていただきます。

次に、第4条、起債の限度額の変更でございます。起債の借入額の変更に伴い、限度額を補正させていただきます。

次に、第3条、債務負担行為の設定でございます。黄檗地区ほか5地区の指定管理委託料でございます。期間は令和6年度から令和8年度まで、限度額につきましては収入から指定管理料を支出しておりますので、指定期間の収入総額を限度額として設定しております。

以上で令和5年度勝浦町簡易水道事業補正予算（第1号）の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第7号、令和5年度勝浦町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の説明をさせていただきます。

まず、増額分はマネジメントシートにて説明させていただきます。

事業名称は、農業集落排水処理施設機能強化対策事業でございます。

事業の目的は、経年等により機能低下した農業集落排水処理施設の更新を行い、施設強化、機能回復を実施し長寿命化を図ることでございます。

事業の概要といたしましては、令和2年度に策定した最適整備構想を基本に、農業集落排水機能強化事業にて機能低下した処理施設、ポンプ施設について機能回復、機能強化を実施することとしております。今回実施をする自家発電装置は、機能強化事業で計画しており、国の補正予算を活用し、前倒しで事業を実施します。予算成立後に全額繰越しし、令和6年度の事業費を追加し、事業実施を予定しております。今後発生することが予想される南海トラフ地震や大型災害の緊急事態に備えるため、処理場の機能停止を起こさないために自家発電装置を設置することで施設の機能強化を図ります。発電規模は、処理場内の機械的な排出が必要とされる真空ステーションの圧送ポンプと、処理場外へ排出する放流ポンプが起動する電力量と管路内の処理水を引き込むための真空ポンプが起動する電力量を想定し、50kVAの発電能力を満たす自家発電装置を設置いたします。総事業費は、令和5年度の補正と令和6年度の当初予算を合わせて5,400万2,000円。内訳といたしましては、自家発電装置設置に5,176万6,000円、実施設計に223万6,000円となります。

補正予算の事業費の内訳といたしましては、令和5年度の補正予算で事業費3,700万1,000円、国、県の支出金が1,850万円、地方債が1,850万円、一般財源が

1,000円でございます。

実施内容といたしましては、予算成立後に設計業務を発注いたします。設計期間は3か月程度が必要と考えられますので、令和6年6月頃に入札を予定しております。完成は令和7年3月末を完成予定としております。

次に、今年度企業債を活用し、料金システムの更新を予定しておりましたが、機能強化事業に比べて費用が少額だったため、また近年の金利の上昇や今後の機能強化で多くの起債の発行を予定しているため、今回の費用は当初予算で予定した繰越金で賄えますので、収入のほうで企業債を起すのをやめまして財源振替で対応することといたしました。

次に、第3条、限度額の変更でございます。こちらは、先ほど説明させていただきました強化対策事業などで起債の変更がございますので、補正をさせていただいております。

以上で令和5年度勝浦町農業集落排水補正予算（第2号）の説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第1号の教育委員会関係について、石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第10号）につきまして教育委員会関係の詳細説明をさせていただきます。

今回提出させていただきました補正予算のうち、増額に関するもの、こちらのほうが2つのマネジメントシートによりお願いしていくこととなります。よろしくお願いたします。

まず1点目でございますが、生小・横小プール改修工事でございます。生小、横小のプールにつきましては、例年6月中下旬にプール開きを予定しておりますが、現在のところ両小学校とも施設設備の老朽化が進んでおります。こういった中で、生小ではプールヘアキャッチャーとポンプを制御する制御盤の更新、また横瀬小学校ではろ過器の修繕、こちらのほうが必要となっている状況でございます。工期ですが、3か月程度かかるという見込みでございますから、プールの開設に間に合わせるために今議会に補正予算として提案をさせていただき、予算は繰り越して事業を進めていきたいと考えております。もし議決いただきましたら、早速に取りかかっていたいと、6

月中下旬のプール開きに間に合わせたいというところで考えております。補正額でございますが、合計は169万8,000円でございます。

続きまして2点目でございますが、勝浦町教育・学術・文化及び体育・スポーツ振興補助金交付事業でございます。具体的には、スポーツ少年団の少女バレー、生比奈クラブが夏の予選を勝ち抜きまして、来る3月28日から31日まで宮城県で開催されます全国大会に出場されるということで、その必要経費の助成を行うことによりまして支援を行う予算をお願いするものでございます。具体的には、交通費とか航空代とか借り上げバスとか、そういったところの支援を考えております。補正額は45万円でございます。

次に、予算書のほうでご説明させていただきます。

まず、先ほどご説明をさせていただきました2点の増額のうち、1点目、生小・横小プール改修工事でございますが、予算書では、9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、14節の工事請負費、説明1の工事請負費ということになります。なお、こちらのほうは予算書上130万2,000円の減額となっております。こちらのほうにつきましては、予算科目におきまして横瀬小学校のLED化工事、こちらの減額300万円、こちらとの合算ということになっております。300万円の減額をしておりますが、今回お願いします補正額169万8,000円、合計がこういった格好で130万2,000円の減額となっているということで、ご理解をお願いできればと思います。なお、財源につきましては169万8,000円、全額一般財源となっております。

マネジメントシート2点目でご説明させていただきました勝浦町教育・学術・文化及び体育・スポーツ振興補助金交付金事業でございますが、9款教育費、4項社会教育費、2目社会体育費、18節の負担金、補助及び交付金、説明は766の教育・学術・文化及び体育・スポーツ振興補助金でございます。補正額45万円、全額一般財源となっております。

そのほか、今回教育委員会から提出させていただいております補正予算についてご説明をさせていただきます。

まず、9款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費でございます。こちらのほうが379万円の減額となっております。旅費は、主に教育長が出張するような分を予定しておりましたが、ほかの行事と重なる等ありまして行けていないと、そういった

事情でありますのと、あと奨学金、想定人数よりは利用いただける方が少なかったというところ、実績による減額となっております。

事務局費でございますが、こちらのほうは主に人件費の関係、こちらのほうが予算の想定よりも金額が下回ったというところの実績見込みによる減額でございます。

幼児教育奨励費でございます。こちらは幼稚園の関係になりますが、こちらは実績見込みによる減額となっております。

続きまして、9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、小学校の関係の費用になります。こちらのほうで1,080万4,000円の減額となっております。おおむね実績見込みによる減額となっておりますが、例えば備品の購入費でありましたら小学校のパソコンの購入費、入札による減額でありますとか、その上のコピー機のリース料、これはこちらのほうも入札による減額というところで、そういったところですね。あと、要保護準要保護児童生徒就学援助費、こちらのほうは予算で考えていた人数より少なかったというところの実績見込みによる減額となっております。

続きまして、9款教育費、3項中学校費、1目学校管理費で中学校の関係の費用となります。477万9,000円というところの減額となっております。先ほどの小学校費と似たような格好で、備品購入費、こちらもパソコンが入札によってかなり安く購入できたというところも含めて、あと補助金の関係でありますとか、中学校のほうで配置しています会計年度任用職員の人件費の関係、また要保護準要保護の就学援助費、そういったところの実績見込みによる減額となっております。

続きまして、9款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費でございます。減額が237万4,000円というところになっております。こちらのほうで恐竜の関係になりますが、人件費、特に地域おこし協力隊の関係になります。こういったところは、大分経費を抑えながら活動いただいたというところで委託料減額となっておりますし、あと補助金の関係、こちらのほうも実績に基づく減額というところになっております。

社会体育費でございます。この中で、先ほどお願いしました今回増額の補助金、こちらのほうに科目がなっております。こちらのほうが45万円の増額となっております。

続きまして、教育集会所費でございます。こちらの購入財産の購入費28万5,000円

となっておりますが、教育集会所に畳のほうを設置しまして、それが予算に比べてこれを減額できるような実績ができたというところで減額となっております。

続きまして、4目の図書館費でございます。こちらのほう、図書館の関係になりますが、会計年度任用職員の人件費、そちらの実績見込み、そういったところで減額となっております。

運動公園管理費でございます。こちらが財源振替となっておりますが、実は子ども活動支援金、こちらのほうが新たに交付をいただけるというところで、100万円の交付決定となったというところで歳入のほうに組んでおります。そういった関係での財源振替というところになります。一般財源を100万円減らされたというところになっております。

続きまして、6目の人権啓発推進費でございます。こちらのほう、先日、議員の皆様に出てもらいました町の人権講演会でありますとか、そういった関係の費用、こちらのほうが実績に基づいて減額するような格好でというところで、講演会委託料は30万円の減額、その上の謝礼ですが、町の人権教育推進委員さんの謝礼、こちらのほうも実績に基づいて24万6,000円の減額というところにしております。

続きまして、9款の教育費、5項の学校給食費、1目の給食総務費、11節の役務費で、説明が4の手数料というところで、こちらは給食の関係になりますが、クリーニングでありますとか検査、そういったところの手数料、そちらのほうの実績に基づいて20万6,000円の減額というところで提出のほうをさせていただいております。

以上、教育委員会からの詳細説明とさせていただきます。ご審議いただき、ご決議賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（松田貴志君） 少し12時は回るかもしれませんが、引き続き説明を求めたいと思います。

続いて、議案第8号について、笠木病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）について詳細説明をさせていただきます。

予算説明の前に、本年度の患者数の推移について若干の説明をさせていただきます。

本年度の当初予算で、業務の予定量としまして外来で1日100人、入院患者で1日

42人というふうに想定しておりました。現在の状況ですけれども、外来の患者につきましては各科の延べ数で平均1日95人程度、それから入院につきましては1月末で31人台というふうに、昨年の数字よりは伸ばしているものの、目標達成には達していないという現状があります。

外来につきましては、内科の新規患者が年度末の予想では28%の増と予想しております。こちらは、特に発熱等による感染症外来への受診患者さんが、若い方も含めて他市町の病院ではなくて当院を受診されたものだと分析しております。これらもありまして、外来については患者数を若干ではありますが伸ばしております。

ただ、入院につきましては微増とはなっておりますが、本年度はコロナ患者の入院受入れなども開始しまして、院内感染なども経験しました。院内感染時には、入退院の制限なども行った結果、10月、11月には平均入院患者数が26人、11月には40%、20人となるような日もございました。その教訓もありまして、現在は院内でのコロナ患者の発生などもありながらではありますが、1月で72.4%、36.2人にまで回復をしております。ただ、年度としては大きな落ち込みもありましたので、現在31%台ということになっております。

というところで、補正予算について説明をさせていただきます。

5ページの事項別明細で説明をさせていただきます。

収入につきましてはですけれども、それぞれの実績予測により減額をしております。

目の欄、入院収益及び外来収益についてですが、さきに説明しましたとおり、当初想定した患者数をクリアすることは厳しくなっております。それに伴いまして収益減となっております。

5目の一般会計の負担金でございますが、一般会計繰入金のうち、救急医療確保に関する費用、それから保健衛生行政事務に対する町負担金について、こちらは医業収益としまして、本年度実績見込みで医業外の収益から受入れの仕分の変更を行おうとするものです。

次に、医業外収益は、一般会計からの繰り出し基準に基づき、実績見込みで算定した額についての変更として医業収益としたものを差し引いた額として負担金、補助金とも減額補正としております。

国県補助金につきましては、先ほど国保会計のほうでの説明にありました国保の保

健衛生事業、それから2次救急経理に関する国保調整交付金が本年度から補助金として交付いただけることになりましたのでそれを含め、あと僻地拠点病院補助、発熱外来への補助など、本年度の実績予想による増額補正というふうにしております。

次に、支出についてでございます。

本年度は、医師の中途退職、それから介護関係職員等の新規採用ができなかったこともありまして、給与費で減額となっております。

一方、材料費につきましては、コロナ治療薬等の高額医療品の在庫を持つようになり、また診療材料の高騰もあり増額、経費につきましては、光熱費や燃料費は新しい施設の有効利用により節約され減額、賃料では、在宅酸素の利用者が少なかったこともありリース料の減額、あとBCPの策定につきましては、実際に業務委託をせずに職員自らのワークショップなどで作成したこともあり、業務委託料等の減額、それから業者紹介経由の医師の採用がなかったこともあり、委託費の減などで経費についても減額補正とさせていただきます。

次に、消費税につきましてはですが、コロナワクチン接種などの課税事業が多くなっておりまして、消費税の納税のための費用として増額補正としております。また、昨年度の消費税の確定申告によりまして予算不足を生じたために、不足分について過年度の損益として計上をしております。歳入総額で2,607万2,000円の減額補正としております。

次に、資本的支出ですけれども、予算書は7ページで収入のみの補正となっております。全て実績による補正ですけれども、国、県の補助金につきましては、病院のバス停を新設したんですけれども、それに伴う補助金について残念ながら補助対象にならなかったというもの、それから一般会計の出資金につきましては、こちらは出資ではなく改築事業に対する町負担金として、収入科目の仕分の変更、それから有利な財源であります企業債が大きく借りられましたので、企業債に……。

そのまま大丈夫ですか。

○議長（松田貴志君） 問題ない。音声的に問題ないので行きましょう。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 企業債について増額補正をさせていただき、一般会計負担金について、出資金からの変更分との差引きで増額補正としております。これに併せまして、企業債については限度額の変更、それから議会の議決を経なければ

ば流用することができない経費として第5条で職員の給与費について補正，それから材料費として棚卸資産の購入限度額の補正を行っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終わりました。

議事の都合により，休憩とします。

午後0時01分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

勝浦病院事務局長より訂正の申出がありますのでよろしくお願いします。

勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 申し訳ございません，朝の説明の中で，議案としまして補正予算（第1号）についてですけれども，事項別明細書の支出，7ページ目でございます。

こちらの貸倒引当金の繰入額の説明につきまして，「公債費」という記載になっております。大変申し訳ございません，「貸倒引当金の繰入額」の説明ということになります。訂正をさせていただきます。データにつきましては訂正しまして，事務局のほうに訂正させていただきますので，よろしくお願いします。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 今の訂正につきまして何かご質問ありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 全然分からなかったやけども。

○議長（松田貴志君） 同期できてなかった。

○5番（花房勝一君） 説明の文字が違うってこと。

○議長（松田貴志君） 笠木病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 文字ではなしに，貸倒引当金の繰入額につきまして，説明で「公債費」というふうに表記されております。こちらは「貸倒引当金繰入額」が正解でございます。申し訳ございませんでした。

○5番（花房勝一君） 公債費が違うってこと。了解。

○議長（松田貴志君） それでは，午前中に引き続いて質疑に移りたいと思います。

これより詳細質疑を行います。

議案第1号について質疑はありますか。

第一読会ですので、自席で着席にてお願いします。

鄧議員。

○9番（鄧 公一君） 補正予算の2ページで、総務防災中瀬課長に確認したいんですが、2ページに交通安全対策特別交付金つちゅうんが全額これは減額になっつて、令和6年度の当初予算のこれは1,000円の計上になっつる。これっつのは制度自身がなくなっつたっつていうこと。ほれか、何か代わりに金額的には多くないんやけど、今までも大体100万円以内ぐらいの予算だったと思うんやけど。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） こちらのほう、制度がなくなっつたわけではございません。あるんですが、1,000円というのは、仮に入っつてきた場合を想定して、来年度の予算……。

○9番（鄧 公一君） 置いとくつちゅうことやろ。ほなけん、なくなっつたわけではないやな。ほやけど、全額……。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） この額は年2回の交付になります。1回目の交付が忘れたんですけど年内にあるんですが、その額が計算式がありまして、何年間かの交通事故の発生件数とかといった状況、道路延長とか、そういった状況での交付となっております。こちらのほうが交付ごとの時期がございまして、最初の1回目の交付が25万円以下に数値がなりますと交付が0になるというふうな規定がございまして。それで、その1回目が0になった場合は3月にも交付があるんですけど、その分年間が0になるというような規定があっつて、計算に基づいて今年度はなかつたということですよ。

○9番（鄧 公一君） ほんなら、これは僕の認識が違うとっつたんかも分からんけんど、初めになっつたときにこの交通安全対策のやつは、いろいろ交通違反の取締りとかで罰金をしたやつを集めたやつを全国に配りよんじゃというて、ほんなん聞いたことあるんやけど、ほなほういうものではないということやね。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） それは、財源としてはそういったものが財源になってます。交付するに当たっつて、交通事故の発生件数割る関係都道府県の云々とか、事

故発生合計数掛ける4分の2と人口とかいろいろ計算式があって、そちらの計算が半期で25万円以下になる場合は交付が0になるっていうような規定があるんです。

○9番（節 公一君） ほな、交付するにいろいろ条件があるが、ただ単にほの交付金があって、ただ国全体で交通違反のなにかが少なかったら少ななるとかほんな単純なものではないということやね。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そうですね。集める財源としてはそちらのほうが財源になっておって、全国の市町村に交付する計算式があるんです。交付税みたいに複雑ではないんですけど、いろいろこっぴど書いてあるんで……。

○9番（節 公一君） 細かいところは構わんのやけど、これは制度がなくなったっていうわけでは……。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そうです、幸いにしてこれがいいのかどうかなんかは分かりませんが、町内の事故の件数の割合が少なかったっていうところで交付がないっていうところなんです。

○9番（節 公一君） そういうことですか。ほんで、6年度の当初予算は1,000円だけになっとったもんやから、何かあったときにこれはせないかんけん残しとるだけで……。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そうですね。私が大分前だったら大体100万円ぐらい年間あった……。

○9番（節 公一君） 100万円ぐらいずっとあったと思うんやけどな。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） これも60万円でも減ってきとったんですけど、そういったことで、今年度私も調べたところ0になるというような見込みであるというふうに聞いてます。

○9番（節 公一君） そういうことですか。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） はい。説明があればでしたら、後でこちらのほうにお越しただけたらと思いますが。

○9番（節 公一君） いやいや、細かいところまではええんよ。全額ないようになったけん、この制度がなくなって代わりに何かこれの分を充填してくる分ができたんかなと思うたんやけど……。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そうではありません。

○9番（笹 公一君） ほうではないということやね。

それと、あと一点で、44ページの公債費の利子なんやけど、予算に対して半額近い、500万円近い減額になっとるんやけど、これって何かが変わった大きな要因というのは何なんですか。2年ほど調べてみたら、大体700万円から800万円ぐらいは利子で払いよったんやけど、ほんで予算は1,100万円しとるわけだな。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 幾つか要因はあるんですけど、見込んでおった長期金利の上昇幅が減少して貸付利率が想定より高くならなかったというのが1点……。

○9番（笹 公一君） あのとときは長期金利は上がりよるといような感じで……。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） いいですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 上がっておるんですが、その上がり幅が思ったよりも少なかったというところですよ、想定よりも。

○9番（笹 公一君） 想定よりは少ない。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そういうことです。減少してるというのではなくて、上がり幅が少ない。

それから、もう一つは借入れの時期でございますが、過疎対策事業債ハードにつきまして、1億5,570万円について、繰越し事業の都合により、借入れの時期は前借りとなって、そのときに本借りするときよりも利率が低かったというところで、大きな借入れのときに利率が低かったというところで……。

○9番（笹 公一君） それが要因になっとると。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 償還の利率が少なくなったというところですよ。

○9番（笹 公一君） 分かりました。一旦置きます。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） 38ページの494の移住・定住支援住宅新築補助金がマイナス500万円っていうのは今までにない不用額が出ているんですが、これってやっぱり住宅を建てる際の経費が上がり過ぎて勝浦町内の新築戸数が減ったから補助金の申請がないということですか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 5年度の補助金の執行としては、10件分の予算に対して5件分の執行額というか執行件数であったということでございます。家を建てるタイミングとか、この補助金を申請するタイミングとか時期にもよるといふこともあるので、一概に住宅が減るといふ話ではないんだらうと思います。ただ、相談としては、ある程度の相談っていうものは今現在も補助金の相談等については受けてますので、6年度についても新築は進んでいくものというふうには考えてます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 過去はこんなに不用額が出なかったと思うんです。だから、これからも建っていくって曖昧な感じじゃなくて、どうしたら新築が増えるかっていうふうな対応も求められると思うんですが、この補正予算額を見て、建設課っていうのはどのように捉えているかっていうのを、相談があるから今までどおり建っていくってというような答弁ではちょっとあれっと思うんですけど、いかがなものでしょう。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） これは住宅ができてからも補助金の申請期限もあるということで、登記とかが完了した後でもらうというような申請方法になってますので、条件が全部整わないと、年度内に全部の条件が整う分については年度内に申請して交付するというような制度になっるといふところなんです。それで、今年度については5件の執行ということにはなっておるといふことです。新築住宅の新築を支援するっていう施策、ほかの分譲地も併せた形での宅地分譲と併せて新築の補助金を紹介もしておるといふ現状でございます。

ただ、資材高騰とかそういった面っていうのは、確かにこの住宅の新築にするのに対して、若干新築をしたいって思われる方が足踏みをするといふところは確かにあったんでないかなっていふふうには考えてます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） この不用額を希望者が多いリフォーム助成のほうに回すってことはできないんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） リフォームの助成については、100万円の補助金については基本的に過疎債のソフト事業を財源として充てておるということでございますので、その上に上乗せ補助として町内業者が施工する場合とか、子育て世代、高齢者が同居する世帯とかっていうものの上乗せ補助があるんですけども、その部分については特定財源がございませんので、リフォーム助成のほうに流用して執行したと、それでリフォームについては33件の今実績になっておるところが現状です。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 使えるのであれば、希望者、今年33件のリフォーム助成が可能だったという報告なんですか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 大本の100万円の部分については特定財を充てておりますので、その100万円以外にプラスアルファの町内業者の施工加算とか高齢者とか子育て世帯の加算が1件当たり20万円の上乗せがあるんです。これを5件分は予算として見込んでます、町内業者が施工する場合ということで。その部分については予算流用してリフォーム事業で実質には実施したと、執行しておるということです。これで合計が28から33件になっておるということでございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） この500万円はいかんともし難いということですね。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） はい。特定財源がありますので、特定財源が充てていないリフォームには執行するのは難しいかなという考えでございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） それは分かりました。

それと、しょうもない質問と言われるかもしれないんですけど、37ページに会計年度任用職員の給与マイナスマイナスってずっと出てるんですけど、これは1人の人の給料が要らなくなったということですか、また別々に要らなかったということですか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 37ページ、土木管理費と道路橋りょう費のところですね

れども、それと河川費、それについては、土木管理費については2名分の会計年度の任用職員、道路橋りょう費については1名分、それから河川費については2名分の人件費ということになります。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 5名分要らなくなったということですか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 5名分の予算に対する最終の決算実績が、3月末までの実績として現在精査した段階で不用額が出たので減額をさせていただくということでございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） それぞれ別々の個人ということですね。分かりました。一旦置きます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 予算書の25ページの企画交流課の阿波かつうら未来応援事業300万円の減額、一応説明を聞いたんですけど、もう少し詳しく説明をお願いします。

○議長（松田貴志君） 寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） 杉の子基金の後継の事業としまして昨年度初めて構築した事業なんですけども、時期的に募集から締切りまでの時間も短かったということで相談件数は幾つかあったんですけども、結局応募には至らなかったということで、今年度に関しては減額として、また来年度も同じように年度当初から早めに募集をかけて事業を行う予定としております。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） たしか8月1日に発表して8月31日が締切りやったね。この短かった理由っちゅうんはあるんですか。何でこんな短いんだろうなと思って。

○議長（松田貴志君） 寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） 財源を集めるのがクラウドファンディングを行うことで、それに90日ほど必要ということで、事業を始めてから終了するまでに時間が過ぎるということが原因だったと思います。来年度は早めに募集をかける予定にして

おります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） そしたら、今年度駄目だった人がもう一回チャレンジしてくれるような感じ。ほんで、何件ぐらいあったんですか、相談は。

○議長（松田貴志君） 寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） すいません、2件から3件だったと思うんですけども、ただ制度に沿ってるかどうかというところで駄目かも分からないというのも若干ありました。必ず来年度に出してくるかっていうところは今のところ不明です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ほの制度についても質問なんですけど、募集要項を見たらちょっと杉の子基金とは内容が違うのかなと。クラウドファンディングを利用するからかなとは思いますが、そこらはどなんなっとんですか。

○議長（松田貴志君） 寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） 杉の子基金はもともとある基金を活用してということだったんですけども、今回は財源を集めるのを広く一般にクラウドで集めるということなので、事業とかがその後継承していったりとか、そういうのを寄附いただいた方にも示したりするというので、かなりしっかりした事業計画を立てていただかないとなかなかできないのかなとは思っております。ですから、杉の子基金よりも厳しいような条件にはなっているんですけど、何年か行ってみてあまりにもその事業がっていう場合は見直しとかをかける予定ではありますけど、今のところは去年と同様の募集方法にしたいと思っております。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 分かりました。一旦置きます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 42ページ、教育委員会にお聞きします。

少女バレーの全国大会45万円、これが認められたらいつ支払えるのかということなんです。野球とかはすごく遅かったんで早く支払ってほしいなっていう部分と、小学校、中学校のパソコンです。当初予算からパソコンの予算計上がありました。働き方改革も含め、いつ頃購入されたんですか。そしてまた、パソコンが購入が遅くて時間外が

発生したとか、そんな現状はあるんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） まず、スポーツ少年団への補助金でござい
ますが、行かれるのが3月28ということですので、何日とは言えないんですけど、それ
までには当然払うようになるかと思っております。

あと、パソコンの件でございしますが、2月中にはたしか納品は終わったと思いま
すが、時間をいただきました。原因としまして、パソコンのセキュリティーの関係とか
の仕様書、そういった仕様書に検討時間をいただいたところでございしますが、遅くな
ったということはおわびを申し上げます。

あと、納入が遅くなったことに伴う時間外勤務発生というところについては、具体
的にこれが原因だから発生したっていうところまでは分析できてませんが、可能性は
あるということは否めないというふうには認識はしております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 1年間効率の悪い仕事をさせたっていう部分は反省もしてい
ただきたいと思います。おわびは学校のほうにさせていただきたいと思うのと、早く
少女バレー大会前にお支払いのほうをよろしくお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） 37ページの県単道路改良費っていうので、工事請負費が
640万円減額になってます。これは沼江バイパスの件ってちらっと聞いたんやけど、
詳しいに言ってくれませんか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 当初予算において、順調に沼江バイパスの工事が進み、
沼江の残土場についても、県としたら今年度にはそれ以上県工事による発生土は発生
しないということで、それと併せて町の管理地でありますので、当然町がその残土場
の管理をしなければならないということで、当初予算において門扉なりフェンスなり
の工事費を計上していたというところですが、沼江バイパスの山腹崩壊が起きた状態
で今後県においてその対策工事を進めることにはなると思っておりますので、そのときに発

生土を再度残土場のほうに搬入したりというような工事が考えられますので、町としたら今現在において門扉なりフェンスなりを設置したら県のバイパス工事の進捗の妨げになるといったようなことから、それがあつ程度見込めた段階で整備をするというために、今年度計上しておつた予算を減額をさせていただいたというところでは。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） 今おっしゃつた残土場つていうんは、西側の第1期工事の分なんですかね。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 東側の今現在土を入れておるところの残土場のところでございます。

○6番（瀬戸直一君） ああ、東、1期のとこやね。

○建設課長（海川好史君） そうです、そうです。

○6番（瀬戸直一君） 分かりました。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 教育委員会関連でお願いします。

予算書の42ページなんですけれども、恐竜による地域活性化のところでの説明で、地域おこし協力隊の方が金額を抑えて活動してくれたのでこれだけ余りましたという話だったんですけれども、地域おこし協力隊の方にはしっかり活動していただいて予算を使つていただくことが大事だと思うんですけれども、管轄してる教育委員会としてどういつた指示なりお願いをされていたのかお願いします。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 42ページ、予算書のお話になります。ここで委託料、これでは分かりにくいんですが、本来我々の給料の部分、こちらはしっかりお支払いできています。これにプラスして、あとほの業務を進めていただく上で経費、経費つていうとちょっとあれなんでしょうけど費用、そういったところを必要な分についてはお支払いしていると。その分を経費節減、いろいろ工夫していただいてちょっと安くできたと、そういうことでございます。基本給つていうか給料の分はしっかりとお支払いできてますので、ちょっとしつこいですけど、あと必要なもの、例えば材料費でありますとか道具代でありますとか、そういったところ、予算を一応取つ

てるんですけど、工夫して安くしていただけると、そういうことでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） その経費は全部支払っているというのは分かっているんですけども、そうではなくて、予算が余ってるのであれば、もっとこういう活動してくださいとか提案して動いてもらえたのではないかっていうところをお尋ねしております。

○議長（松田貴志君） 石木局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） そういったことも踏まえまして、1年目でしたので、手探りのところもありましたので、また2年目はそういったところも反省点として生かしていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） しっかりお願いいたします。

続いて、もう一件あるんですけども、教育委員会でプールの設備改修の話なんですけれども、ヘアキャッチャーに関して、マネジメントシートの説明の中には更新時期を過ぎておりっていうところがあったんですけども、更新時期を過ぎる前に交換するものではないかと思うんですけども、これについてはどうでしょうか。

○議長（松田貴志君） 石木局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 更新時期っていうのも一つのめどにはなりません。当然望ましいのはそういうことなんですけど、予算の関係とかいろいろありまして今回まで至ってますが、今までもどうしても故障で駄目になったとかそういうあれではなかったんですが、年々老朽化していよいよかなというところで、今回このタイミングで出させていただいております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 予算のあれと言いましたけれども、更新時期が来ているのが分かっていたら当初予算に入れていればよかったのではと思うんですけども、そういうことではないんですか。

○議長（松田貴志君） 石木局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） これは一つの目安の時期ということで捉えていただければと思っております。ですから、目安はここ何年かなんですけど、今のところは使えているというところで今回、ただだんだん調子が悪くなってきたので今回のタイミングで出させていただいたというところですよ。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） ちょっと何とも言えないですけど、調子が悪くなってきたから交換したいということですか。分かりました。

以上です。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） そしたら、8ページを見ていただきたいと思います。

明許繰越しの補正っていうようなことでございます。総務費から教育費までありますけれども、実際は繰越しっていうんでなくて、できたら年度内消化っていうようなことでしてくれたんが一番言うたら住民にとっては、予算が執行されてすぐに自分のところに返ってくるっていうようなことで非常にいい話なんですけど、これ明許繰越しするっていうことは、非常にいろんな障害があってできていってないだろうと思うんですが、5番目の農林水産業費なんですけど、地籍調査っていうことなんですけど、1億2,000万円、結構大きな額が繰り越されております。5年度と6年度と合わせて一緒にいうたら、測量なり地籍調査をするほうが効率的なんかそういうふうなことで繰り越したんかなっていうような気はするんですが、そのところの詳細説明をお願いしたいなと思います。建設課長さんお願いします。

○議長（松田貴志君） 農業……。

○4番（玉置 守君） 農林、農林。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 地籍調査事業の1億2,000万円の分につきましては、5年度の国の補正予算で6年度の前倒し予算がつきまして、それをそのまま繰り越すようになるんです。5年度当初の予算じゃなしに、5年度の国の補正で事業採択されたものを6年度に繰り越すイメージです。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） そしたら、6年度はつかないってということなんですか。6年度もつくんでしょ。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） いや、6年度は5年度でついた分を事業を執行するというので、6年度については国の予算はつかないということです。

○4番（玉置 守君） ほなけど……。

○議長（松田貴志君） 小休します。

午後2時01分 休憩

午後2時03分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） この1億2,000万円については、今回の議会で補正をお願いするものでありまして、5年度の当初予算のものをそのまま繰り越すのではなく、3月議会で増額補正をさせてもろうた分をそのまま6年度に繰り越すというイメージになります。6年度は6年度でまた要望していきますので。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） ありがとうございます。

できるだけ執行のほうには十分配慮をしていただいて、今年は星谷地区が入っておりますので、ぜひ執行のほうはよろしくお願ひしたいと思ひますし、また国のほうの要望においても、次年度、また次々年度ということに継続性がありますので、その点も国のほうへの再度要望のほう、ひとつよろしくお願ひをいたしたいと思ひます。

○議長（松田貴志君） ほかありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 32ページ、福祉課の予防接種の予算の減額補正なんですけど、子宮頸がんの見込数はどうだったのかっていうんと、対象者が幾らで実績は幾らだったんかなって、その点。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 313の予防接種委託料1,290万円。

○議長（松田貴志君） 合うとる，合うとる。

○福祉課長（長友清美君） その分の実績ということですが，最終の3月の分がまだ残っているので見込みにはなるんですが，コロナのほうの分につきましては接種の見込みが最大で68.8%ぐらいと見込んでおります。

また，高齢者のインフルエンザのほうにつきましては，当初の予算要求のときには2,000人見込んでおりましたが，最終の見込みが1,623人ぐらいでないかというような予定になっております。また，小児のほうの予算要求では，718名見込んでおりましたが，596人っていうような見込みでございます。

○議長（松田貴志君） 子宮頸がん。

○福祉課長（長友清美君） 子宮頸がんにつきましては，当初の予算の要求よりも15名少ない見込みになっております。

○7番（美馬友子君） 対象者が何人で。

○福祉課長（長友清美君） 当初の見込みの数ですね。

○7番（美馬友子君） まだ多分途中だろうと思うけん，また結果が出たときでもいいです。

○議長（松田貴志君） また後でやって。

○7番（美馬友子君） 後で。

○福祉課長（長友清美君） すいません，子宮頸がんの当初の要求は70名です。

○7番（美馬友子君） 70人で，ほなけん，55人は接種できたってこと。

○福祉課長（長友清美君） できたというか，見込みで。

○7番（美馬友子君） 見込みで。ありがとう。どんなかなって思って聞いてみました。

それから，続いて34ページの農業振興課に聞きますが，農業振興費の減額予算で，ただこれを読んでくれただけで実績とか中身が全然説明がなかったんで，380からの分，説明してもらってもよろしいですか。補助金減額の中身の実績と，中山間，多面的事業が少なかったけん減額したんかとか，中身の報告が聞きたいんですが。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 380の町単独農業振興事業補助金については，メニューが細かいんで具体的な件数はあれなんですけど，実績見込みで511万円で，新規

就農総合支援事業につきましては、給付を1人見込んだのがゼロだったということで100万円の減。それから、町単独農業ブランド化対策事業補助金につきましては、これは糖酸度計の実績で……。

○7番（美馬友子君） 糖酸度計の補助金のこと。

○農業振興課長（上村和也君） のことで、実績見込みによる100万円の減です。

それから、大きいものでいきますと、柑橘園地利用最適化推進事業につきましては、これは対象園地がJA窓口の国の補助事業になりまして、申請がなかったということで100万円の減額です。次に、中山間地域等直接支払交付金と多面的機能支払交付金については、実績見込みで220万円と、多面的が223万8,000円の減になります。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） すいません、実績見込みっていうんは、事業が少なかったけん減額でもないんですか。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 事業が少なかったって、対象面積に合わせた金額になりますので、その実績に合わせた減額になります。

○7番（美馬友子君） 意味分からん。

○議長（松田貴志君） 当初予算と比べたら減額でいいから、その理由を分かりやすく言うてくれたら。

上村課長。

○農業振興課長（上村和也君） 当初見込んでおった面積より面積と人数が減ったことによる減額になります。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 了解、分かりました。ありがとう。

それから、上のほうの補助金で、果樹の共済とか個人的なみかん経営に対しての補助金がメニューの中であるんですけど、これって、始まった理由って何だったんですか。保障って私的には要るんだらうかって思うとうけん聞きよんやけど、大事なことであったら大事で継続せないかんのやけど、どんなんかなって。

○議長（松田貴志君） 小休します。

午後2時13分 休憩

午後2時16分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） すいません、共済加入者の一部補助金といたしまして、実績見込みによる減額となっております。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ありがとうございました。大丈夫です。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

長尾議員。

○3番（長尾隆資君） 33ページ、清掃費の5目合併浄化槽推進費についてお尋ねします。

令和5年度の目標が10件で、そのうち9件ができてあと一件で100%進むというような流れであったかと思えます。それで、令和5年度っていうのは、今月31日までが令和5年度の期間と思えます。今月31日までに間に合えばもう一件推進しても可能か、どなんんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 今年度の事業申請の締切りは年度末までとなっておりますので、新たに実施される方は、予算議決後の4月以降にまた令和6年度の事業として申し込んでいただくようになります。ですから、今1件残ってるからできる、申請してもできません。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○上下水道課長（大上誉司君） 出ますわ。ごめんなさい、訂正させてください。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 事業申請は、年末までに行っていただくようになりますので……。

○3番（長尾隆資君） 12月まで。

○上下水道課長（大上誉司君） ですから、以上でございます。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） 分かりました。

それと、1つ知識不足で意味だけ教えてほしいんですけど、じんあい処理費って、じんあいっていうんは何のことでしょうか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○3番（長尾隆資君） 数字とかっていうんでなしに。ごみのことですか。

○議長（松田貴志君） 漢字で言うたらな。言うたんやけど。

後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） じんあいと申しますのは、ちりとほこりということでございます。

○3番（長尾隆資君） それを平仮名で書いてあるっちゅうことですか。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） すいません。失礼しました、知識不足で。どういうことかっていう、数字のことでなしに意味だけ知りたかったんで、ありがとうございました。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかありませんか。

内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 建設課の内容で1件お尋ねします。

34ページの下のほうに書いてある広域農道整備事業なんですけれども、このお金、県の事業費の何割かを町が負担しますよっていうお金だったと思うんですけれども、100万円減額されてるってことは県の工事が予定より遅れているということなのかなと思うんですけども、何か情報ありましたら教えてください。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 予算の段階で、県に事業費、来年度予算という形で、どのぐらいの事業費を見込んでますかという形で確認しながらうちはこの負担金を予算化しておったということで、県も事業を進める中で、国からの財源、国の割当額に応じて事業執行することから、その事業費が思うとただけの事業が進まなんだっていう、国からの割当額が少なかったために事業費が減になったということから負担金が減額になったということでございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 理解しました。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 節議員。

○9番（節 公一君） 建設課長に尋ねますが、38ページで、急傾斜地崩壊対策事業が100万円減額になっとなんですが、これって檜淵地区のことと思うんやけど、6年度の当初予算にはもうほとんど計上されとらんっていうことは、これ、5年度で完了すると。事業自身はまた多分続くと思うんやけど、また全部終わっとらんけん、予算的にはほういうことなんですか、これ。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 檜淵の急傾斜事業のことで、ほの負担金を減額にしとるって、それについても、当初の事業費を見込んだんから事業費を精査した結果事業費が少なくなったんですよっていうことは県から伺っております。それで、今補正の話なんで、6年度予算には負担金として計上していません。それは、今年度の負担金の中で事業としては仕舞ができるっていうことは県のほうとも確認をいたしておりますが、事業が今年度末には当然できんし、事業としては繰越しをして6年度中にできるかどうかはきわどいっていうような形のことも担当からは聞いておりますが、いずれにしても町の負担金としたら、これで檜淵の急傾斜の負担金は今回の5年度の予算の中で全事業として仕舞がつくっていうふうには聞いております。

○議長（松田貴志君） 節議員。

○9番（節 公一君） その確認なんやけど、今課長が言うてくれたように、僕も聞いとるのは、県のほうが5年度でもうできるだけつけたと、予算。その分で、事業は終わるはず分ぐらいはつけてあるんでということを知ったんですよ。やけん、これ減額してもその金額の中で、6年度に事業は一部は多分残ると思うんやけど、それでももう予算的にはこれでいけるということでええんやね、よっぽどのことがない限り。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） そうです、ほの事業、町としたらこの5年度の負担金の中で仕舞ができるっていうことも県からは現在の段階では確認しております。やけん、6年度としては負担金は計上していないということです。

ただ、事業については、繰越しして6年度中に全ての事業ができるかどうかっていうんが、まだ県としても場合によったら事後繰越しがっていうようなことも話として

はあったです。

○議長（松田貴志君） 籾議員。

○9番（籾 公一君） 僕も聞いとんは、ほのいうね、予算的には確保してあるからあとはもう6年度では終わるはずやというようなことは聞いとんやけど、見よったらなかなかこれすぐには、出納の締め5月ぐらいまでには終わらんのかやうかなというような気もしたんでね。予算的にはいけるという話やね。

○建設課長（海川好史君） 予算ではもう。

○9番（籾 公一君） 予算ではね、実際の仕事はまた現場のほうを見らな分からんということで。了解。

○議長（松田貴志君） ほかありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） 同じ38ページの486の耐震シェルター普及推進モデル事業補助金が減額になってるんですけど、能登の震災を見ると、日本建築の住宅にこれは必要な事業だと思います。この140万円の減額っていうんは何戸分なんでしょ。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） これ、140万円が1戸分ということで。

○10番（井出美智子君） 1戸分。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 5年度は何件。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 5年度は、耐震シェルターについては1件分の予算しか当初予算としては見込んでませんでしたけど、耐震シェルターについては、申請される方がいなかったということで減額したことになってます。

そのほか、耐震改修事業については、実績として、予算額については4から5の繰越しと合わせて7件分の耐震改修事業が執行しておるところでございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） じゃあ、この耐震シェルターは過去何件ぐらい実施の実績があるんでしょう。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 過去に2件の実績がシェルターとして、大分前だったと思うんですけど、私がこっちに来る以前でなかったかなと思います。そういう実績が2件あるというふうには認識しております。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） かなり長い間この制度があつて2件しかなかったわけですか。

○建設課長（海川好史君） はい、そういうことだと思います。

○10番（井出美智子君） 能登の地震を見ると、旧日本住宅がみんな潰れて死亡事故につながっているんで、家全体の耐震というと高額になってくるので、こういうのも進めることは必要かと思うんですが、もっとPRして、それとお年寄りが単独とか夫婦だけの世帯に対して、耐震シェルターを造るのに補助率が何ぼで個人負担が多くなならないような手厚い制度も必要かと思うので、この耐震シェルター事業の見直しも図る必要があるんじゃないかと思うんですけど、建設課長はいかがお考えでしょう。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 耐震シェルターについても、耐震改修と同様に現在までも推進してきておりますが、町内の登録業者さんで耐震シェルターを実施するっていうのがなかなか難しいというところで、現在としたら耐震改修のほうを町内の登録業者さんに説明をするなりして推進を図っておるといったところですよ。

ほれで、費用については、シェルターのほうが安くなるっていうのは確かに安くなるんですが、部屋1部屋になるということで、寝室等っていうところもあつて、シェルターと併せて耐震ベッドっていう形でも今までも一番簡易にできますよっていうことで推進も進めてきたところなんですけど、残念ながらシェルターが進むような機会がなかったというところで、建設課としても耐震改修のほうを施工業者と話をしながら現在は進めておるといったような状況です。

それで、耐震改修が難しいご家庭というか、高齢者世帯だとかについては、減災化事業ということで、家具の固定なり感震ブレイカーの設置なりを進めておるといった状況でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 今回の地震の映像を見るたびに、新しい住宅はしっかり立っているのに日本家屋はほとんど倒壊しているっていう実態があるので、それで亡くなっている方が大部分で聞いておりますので、できるだけ個人負担がかからない形で減災を図っていくっていうことも制度の見直しが求められていると思うので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） マネジメントシート、住民票等振り仮名対応業務ということで質問したいんですけど、住民票に振り仮名がないのに振り仮名を打つようなシステムに変えるというイメージで受け取ったんですけど、そういうことで。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 今回の補正につきましては、住基のほうと、それと戸籍の付票について振り仮名を記載するような改修を行うということでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） そしたら、その説明の中に、申出に基づき実施ということで、これ、町民に聞くんですか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 振り仮名が正しい振り仮名であるかどうかということ住民の方に確認いただくということでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 町のもともとの戸籍とかに振り仮名っていうのが打ってあって、それを合ってますかっていうふうに聞くということ。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 住基のほうに振り仮名を振ってはありますけれども、これは修正が必要なような振り仮名もございますので、ほれでこれを基にして住民の方にご確認をいただくということでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） もともと間違えたデータが入ってるのがあるっていうことですか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 間違えてると申しますか、例えば花房さんがはなぶさになっとなったり、ほういったことも一つの例としてあるのかなと思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 合うてます。

そしたら、それを調べて、7年度からは住民票に振り仮名が明記されるという事業ですか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 7年度に通知を行いまして、1年ほどかけてご返事をいただいて、それを修正していくということになります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 7年度にするのを今の補正で国がやれということなの、ほういうことやね。分かりました。

○議長（松田貴志君） 課長、確認の予算はまた別に出てくるの、7年度についていうことやな。オーケーです。だって要るでな、何かしらは。

ほかありませんか。いますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは続いて、議案第2号について質疑はありますか。

国保の補正予算です。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 特定健診も含みますよね。

さっき課長がエコーの申込みが少なかったって言うんで、これは、原因は特定健診率が下がったせいかな、いつもの人がしなかったんとか、どんなんでしょうかね。

○議長（松田貴志君） 藤井税務課長。

○税務課長（藤井小百合君） 特定健診の今の現状でいいますと、多分今年度50%ぐらいの受診率になろうかと思います。受診者が少なかったということでございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 何か考えれる理由は、まだコロナ禍の終わりだったんかなっていう感じでしょうかね。

○議長（松田貴志君） 藤井税務課長。

○税務課長（藤井小百合君） 集団健診で、春先に回っている分で受けていただいている方、あとそれに間に合わなかった方は医療機関等で受けていただいておりますので、医療機関で受けていただける方の数も今後増やしていけるように未受診者に対してアプローチをかけていこうとは思っております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ぜひよろしくお願いします。ありがとうございました。

○議長（松田貴志君） ほかありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、次に参ります。

続いて、議案第3号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは続いて、議案第4号について質疑はありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） すいません、介護予防普及啓発事業っていうのは、まだ介護認定を受けてない人のための事業ですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 議員おっしゃるとおり、介護認定を受ける前の高齢者に対しての事業になります。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） そういう方が予定より多く啓発事業を受けてくれたということで、事業費が増額になったということですね。どういう方が増えられたんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 当初、予算計上のときには2,400人を予定してたんですが、それを上回るような見込みで今伸びております。

今までにはコロナというようなところで自宅にずっとおられた方が皆さん誘い合わせていただけて出てこられたというようなところで増えてきているような状況でござ

います。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） それは、勝浦町的には予防が目的なので歓迎すべきこと
ですよね。今年度はもっと予算額を手厚く取って、もっともっと参加できてくれるよ
うにするということですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○10番（井出美智子君） 来年度っていうか、6年度。

○福祉課長（長友清美君） また6年度には、ほかのストレッチであったり音楽も取
り入れたりというようなところで、またいろいろとは考えております、新たなもの
を。

○10番（井出美智子君） よろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは続きまして、議案第5号について質疑はありません
か。質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） たしか去年追加補正だったと思うんですが、後期高齢者の方
の対象人数が減ったとか、そういう意味合いでもないんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 藤井税務課長。

○税務課長（藤井小百合君） 今回の減額に関しては、令和4年中のコロナによる所
得の落ち込みが原因になるかと思われます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に移ります。

続いて、議案第6号について質疑はありませんか。

簡易水道事業の補正予算です。

瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） 沼江掛谷地区の建設改良費331万円と1,500万円工事請負費，減額になってますが，これって沼江バイパス崩落による工事を中止したということなんですけど，こういった水道の工事をしようと思っと思ったんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） この工事は，沼江バイパスの3工区の起点の側のところで県道のかさ上げ工事と，それと起点部の舗装工事を県が実施する予定だということで，現在沼江地区の水道管をバイパス工事の関係で仮設しておりますので，今回の舗装をする際にかさ上げ工事と舗装工事と一緒に本管の布設替え工事を実施しようと計画をしておりましたが，その後に終点側の崩落の工事がありまして，県のほうから，そちらの工事を優先したいから舗装工事ができなくなったと，一緒にする工事ができなくなったという連絡がありましたので，今回は予算を補正させていただくようになりました。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） 説明がよう分からんので，また詳しく教えてください。

旧道に沼江水道の管が埋設されるとうっていうことなんですか。バイパスには…
…。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午後2時43分 休憩

午後2時46分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に移ります。

続いて，議案第7号について質疑はありませんか。

籾議員。

○9番（籾 公一君） 上下水道課長にお尋ねしますが，マネジメントシートで，この自家発電装置を集落排水のところに付けるということで，補正で3,700万円，全体で5,400万円，非常に大きな金額のものになるんですけど，昼の時間に見てきたんやけ

ど、現場、これって、ここの場所は屋外へ設置するということ。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 屋外に設置するようになります。

○議長（松田貴志君） 籾議員。

○9番（籾 公一君） ここっていうんは、新しいハザードマップでは浸水することになっとなやね、ここは。見てきたら、たしか一番低いところからは50センチぐらいは高いん、ここのところ。だけど、ハザードマップでは1メートル以上。ほんで、ちょうど坂本川と勝浦川が合流するところで、一番浸水しやすいところなんやね、大雨のときには。当然、設計はこれからと思うんで、そこらあたりのことは十分に考慮に入れてもらわないかんのやけど、ただ上の屋根の高さがあるんであまり上げるも、物がどんなか分からんのやけど、いずれにしてもここが浸水する可能性が非常に高いところなんですよ、横瀬のところでは。言うたら、一番低いところなん、あの地区のところではね。そこは十分、設計の段階で考慮するようにしといてもらえませんか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 議員ご指摘のとおり、そのあたりはハザードマップでつかってことは認識しておりますので、設計の段階できちんと精査して、適したものを設計して実施していきたいと思っております。

○9番（籾 公一君） お願いします。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 今の1点だけ確認なんですけど、今までは自家発電装置ちゅうんはなかったんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 自家発電装置はついておりませんでした。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ほな、停電したときの対策は何もなかったちゅうことですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 今までに、過去に長い時間停電したということは極力少なかったのですが、30分程度ぐらいだったら復旧できましたので、今までは設置しておりませんでした。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） なるべく早くつけてあげてください。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

ごめんなさい、重なるんですけど私からいいですか。

節議員がちょうど指摘された部分で、具体的に今回も工事の請負費の部分も出てきます。そこらあたりも想定した上でのかさ上げももしかしたら必要なるかも分からんっていう想定の上での工事請負費の計上でよろしいんですか。

大上課長。

○上下水道課長（大上誉司君） おっしゃるとおり、それも想定した予算の計上とさせていただきます。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） その機能強化なんですけど、ここって水が出たらいつも出役で水を抜く作業とかに出られようじゃないですか。ほっちの分の機能強化はまだまだ先の予算なんです。する必要はない。台風とか水が出たらいつも水処理に出役で出よう、ほれって機能強化せんでもほの処置は適当なんかな、どんなんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 今回の機能強化事業の中のメニューで、今年度なんですけど、ポンプの入替えとかも入っておりますので、その分の対応とかはしております。それですから、順次つけるメニューをこなしていきたいと考えております。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ポンプの入替えでいけるっていうんだったら安心です。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次，行きますね。

続いて，議案第8号について質疑はありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） お医者さんの退職という報告を受けましたが，何か月働いてどれくらい払って，医師を確保するためにどれくらいお金を使ったかっていうのは報告してもらえるんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 笠木病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） すいません，細かい数字が出ませんが，今年の2月に採用しております，医師につきましては。それで，12月末をもって退職をされました。あと，給与につきましては個人のこともありますので，ただ，すいません，細かい数字を覚えておりませんが，業者さんに紹介料としてお支払いをした費用がたしか400万円幾らだったと思います，昨年度実績になります。申し訳ございません，昨年度の実績なので，今細かい数字は持っておりません。

それから，給与ですかね。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） いいですかね。すいません。

○10番（井出美智子君） このマイナスで見たらいいですよ。

非常に残念ですけど，今後の教訓になるようなことってありますでしょうか。

○議長（松田貴志君） 笠木病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） ご質問ありがとうございます。

今回の入職されて退職された医師につきましては，実は昨年度，ごめんなさい，もうほんまに正しい数字を言えないですけども，非常勤で数か月間来ていただいた医師でございます。それで，当院でなじんでいただけるだろうと，当院でご活躍いただけるだろうということで，ご本人の同意もあって採用した医師ではあったんですけども，9か月で退職されたというふうな経緯がございます。当然，当人が退職される時にどういうことでの理由でというのは院長なり私どもなりが聞き取りもしておりますので，今後新しい医師を迎えるに当たりどういうふうな対応がいいのかっていうところは今後に活かしていきたいなとは思っておりますが，ここでの報告はできたら控えさせていただきたいなと思います。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） すごく期待していたので、本当に残念ですとしか言いようないんですけど。笠木事務局長もご苦労かけますが、次のお医者さんをまた探さな
あかんので、みんなで力を合わせて頑張りましょう。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、打ち切りますね。

以上で詳細質疑を終了します。

お諮りいたします。

本件を第二読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、本件は第二読会に付すことに決定いたします。

議案第1号から議案第8号までを一括して議題とします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、そのように決定いたします。

これより第二読会を開きます。

第二読会における議員間の自由討議を省略いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。

それでは、これより総括質疑を行います。

議案第1号について質疑はありませんか。

補正予算です。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第2号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第3号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第4号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第5号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第6号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第7号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第8号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

以上で総括質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

本件を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、本件は第三読会に付すことに決定いたします。

議案第1号から議案第8号までを一括して討論と採決を行うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、一括して討論と採決を行うことに決定

いたします。

これより第三読会を開きます。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○議長(松田貴志君) 賛成者多数と認めます。したがって、議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算(第10号)についてから議案第8号、令和5年度勝浦町病院事業会計補正予算(第1号)については原案のとおり可決いたしました。

小休いたします。

午後3時02分 休憩

午後3時18分 再開

○議長(松田貴志君) 再開いたします。

~~~~~

○議長(松田貴志君) 次に、日程第12、議案第9号、勝浦町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてから日程第25、議案第22号、債権の放棄についてまでを一括して議題とします。

これより第一読会を開きます。

町長から、議案第9号から議案第22号まで一括して趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長(野上武典君) 議案第9号から議案第22号の提案理由の説明をさせていただきます。

議案第9号は、勝浦町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、地方公務員法第22条第1項に規定する会計年度任用職員に対する勤勉

手当の支給が可能となったことを受け、関係条例について所要の改正を行うものでございます。

議案第10号、勝浦町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、デジタル社会の基盤であるマイナンバー及びマイナンバーカードについて、国民の利便性向上を目的とした行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。

議案第11号は、勝浦町火災予防条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い所要の改正を行うものでございます。

議案第12号は、勝浦町災害対応基金条例についてであります。

ご存じのとおり、南海トラフ巨大地震や1,000年に一度の大雨など大規模災害対応への需要は増大しており、その財源の確保が急務であると感じております。よって、住民の命を守るため、防災・減災、発災時の応急措置並びに発災後の復旧及び復興に関する事業に要する経費に充てるための基金を新たに設置するものでございます。

議案第13号から議案第15号は、いずれも基金条例を廃止する条例であります。

自ら考え自ら実践する地域づくり基金及び勝浦町杉の子基金につきましては、基金を全て取崩し所期の目的を果たしたことから、条例を廃止するものでございます。

なお、勝浦町地域福祉基金につきましては、令和6年度に実施予定である介護施設等整備事業に全額充当することといたしております。

議案第16号は、勝浦町子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、徳島県において子どもはぐくみ医療費助成の対象要件が拡充されたことを受け、所要の改正を行うものでございます。

議案第17号は、勝浦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い所要

の改正を行うものでございます。

議案第18号は、勝浦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い所要の改正を行うものでございます。

議案第19号は、勝浦町介護保険条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、令和6年度から令和8年度までの介護保険料率を定めるほか、所要の改正を行うものでございます。

議案第20号は、勝浦町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める省令の一部改正に伴い4つの関係条例について所要の改正を行うものでございます。

議案第21号は、勝浦町簡易水道管理条例及び勝浦町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、沼江掛谷地区掛谷区域の水道料金の改定に伴う改正のほか、水道法の一部改正に伴い関係条例について所要の改正を行うものでございます。

議案第22号は、債権の放棄についてであります。

これは、住宅新築資金貸付金償還金に係る債権を放棄するに当たり、議会の議決を求めるものでございます。

以上、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、ご決議賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（松田貴志君） 町長の説明が終了しました。

続いて、関係各課長から詳細説明を求めます。

まず、議案第9号から議案第13号について、中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 詳細説明をさせていただきます。

議案第9号でございます。

議案第9号、勝浦町会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

こちらのほうは、地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、地方公務員法第22条第1項に規定する会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となったことを受け、関係条例に所要の改正を行うものでございます。

2つの条例を改正をいたします。

まず、勝浦町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例についてでございます。こちらのほうの改正内容につきましては、会計年度任用職員に勤勉手当を支給することができるよう規定を追加するものでございます。支給月数につきましては、正規職員に準ずるものでございます。

2点目でございます。職員の育児休業等に関する条例でございます。こちらのほうは、育児休業している職員への期末手当等の支給について、会計年度任用職員を除外する規定を削除し、支給を可能とする改正でございます。

議案第9号につきましては以上でございます。

続きまして、議案第10号、勝浦町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

改正理由につきましては、デジタル社会の基盤であるマイナンバー及びマイナンバーカードについて、国民の利便性向上を目的とした行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い所要の改正を行うものでございます。

主な改正内容でございますが、法改正に伴う当該条例の用語の定義の規定の見直し、番号法別表第2が廃止されたことに伴う条文の改正でございます。

続きまして、議案第11号、勝浦町火災予防条例の一部を改正する条例についてでございます。

こちらのほうも、消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い所要の改正を行うものでございます。

主な改正内容でございますが、急速充電設備につきまして全出力の上限撤廃、蓄電池設備のリスクに応じた基準の見直し、固体燃料を使用した火気設備の離隔距離に関する見直し等、火災予防上必要な措置の見直しに伴う見直しを行うものでございます。こちらのほうは、上位法の改正に伴いまして改正をさせていただくものでございます。

続きまして、勝浦町災害対応基金条例についてでございます。

こちらのほうは、大規模災害への対応は需要は拡大しており、財源の確保が急務であるということに伴いまして、防災・減災また発災時の応急措置並びに発災後の復旧及び復興のために行う事業経費に充てるため基金を設立するものでございます。

条例の施行につきましては、令和6年4月1日からとさせていただいております。

続きまして、議案第13号でございます。自ら考え自ら実践する地域づくり基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例でございます。

こちらのほうは、町出産祝い制度交付金及び新規就農総合支援事業給付金等の事業により、自ら考え自ら実践する地域づくり基金を全て取り崩しましたことで、令和4年度末基金残額がなくなり、同基金は所要の目的を果たしたことから、この基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止するものでございます。附則といたしまして、この条例は令和6年4月1日から施行するとさせていただいております。

簡単でございますが、説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第14号について、寺尾企画交流課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） 議案第14号、勝浦町杉の子基金条例を廃止する条例についてご説明いたします。

この条例は、平成24年度に住民の方から受けた寄附金を原資として勝浦町杉の子基金を設置したもので、寄附者のご意思に基づき勝浦町内における新規の起業者支援や活力ある地域産業を育成するため、起業者に対し勝浦町杉の子支援事業補助金として交付してまいりましたが、基金残高が今年度末をもってなくなることから基金条例を廃止するものでございます。

以上、説明となります。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第15号から議案第20号について、長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 議案第15号，勝浦町地域福祉基金条例を廃止する条例について説明をさせていただきます。

この条例につきましては，生きがいと健康づくり，その他高齢者の保健福祉に関する事業の推進に資するため地域福祉基金として積立てをしておりました。

今回，介護施設への補助金に充当するため全額取り崩し，繰り出しを行います。残高が0となることで基金の処分となりますので，施行日を公布の日からとし，基金条例を廃止するものでございます。

続きまして，議案第16号，勝浦町子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について説明をさせていただきます。

改正理由は，徳島県子どもはぐくみ医療費助成事業の補助対象が拡充されることに伴い対象者の要件を整理するものです。

内容は，4月から徳島県の医療費助成の対象が18歳に達する年度末までに拡大となります。これまでは18歳でも婚姻している者や就職により自身が加入している保険がある場合は対象外となっていました，就職や婚姻の有無にかかわらず医療費助成の対象とするために一部改正を行うものです。

また，4条，5条につきましては，診療報酬の算定方法等に厚生労働省告示番号及び日付を追加し文言等の修正を併せて行います。

続きまして，議案第17号，勝浦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について説明させていただきます。

改正理由は，家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。

内容は，家庭的保育事業等において保育士一人が受け持つ子供の人数，配置基準ですが，3歳児について20対1から15対1に，4，5歳児の配置基準について30対1から25対1へ見直しとなることに伴い改正を行うものでございます。

続きまして，議案第18号，勝浦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について説明させていただきます。

改正理由は，特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い条例の改正を行うものです。

内容は、施設の重要事項の書面掲示に加え、インターネットを利用して公衆の閲覧に寄与しなければならないこととすること。また、電磁的記録について、磁気ディスク、CD-ROM、その他これらに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができるものについて媒体の種類を示さない形の電磁的記録媒体に改め、文言の適正化を図るものでございます。

続きまして、議案第19号、勝浦町介護保険条例の一部を改正する条例について説明させていただきます。

改正理由は、令和6年度から令和8年度の介護保険料率を定めるため、また新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免対象となる納期限の終期を定めるため改正を行うものです。

内容は、1号被保険者の標準段階が9段階から13段階までに多段階化され、1段階から3段階においては保険料標準乗率が引き下げられます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免対象とする納期限の終期を令和6年3月31日と定める改正を行います。

続きまして、議案第20号、勝浦町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について説明させていただきます。

改正条例として4つほどあります。1つ目が、勝浦町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例、2つ目が、勝浦町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、3つ目が、勝浦町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、4つ目が、勝浦町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例。これらの条例に関しまして、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い各基準条例の改正を行うものでございます。

主な内容は、事業所内での書面掲示を求めている運営規程等の重要事項についてウェブサイトに掲載することが義務づけられます。また、管理者の兼務範囲を明確化す

ることや、身体的拘束等の適正化のため委員会の設置、指針の整備、研修の実施の義務づけや協力医療機関との連携体制の構築や、新興感染症発生時の対応を行う医療機関との間で協議を行うなどのことが義務づけとなります。

以上で福祉課からの説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第21号について、大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 議案第21号、勝浦町簡易水道管理条例及び勝浦町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について詳細説明をさせていただきます。

改正する条例は2件ございまして、まず勝浦町簡易水道管理条例の一部を改正する条例は、令和6年度から水道整備管理行政を所管する省庁が厚生労働省から国土交通省へ移管するため、第37条と第40条の省庁名を改正いたします。また、沼江掛谷地区掛谷区域の料金改定に伴う改正は、管路や施設の老朽化、物価高騰等の理由により運営に必要な料金収入確保のため、基本料金を1か月当たり408円から660円に改めます。

次に、勝浦町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例につきましても、こちらも令和6年度から厚生労働省から国土交通省及び環境省へ所管庁が変わりますので、こちらについても改正を行います。

以上で条例改正の説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第22号について、後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 議案第22号、債権の放棄について説明を申し上げます。

住宅新築資金等貸付特別会計についてでございます。

貸付事業そのものは終了しており、現在は貸し付けた資金の収納事務を行っております。償還が滞っております収納を解消するために県の償還推進助成事業補助金を利用いたしまして県町村会の顧問弁護士の方に相談を申し上げ、処理方針についての検討をいただきました。その結果、相談いたしました1名の方の貸付債権は時効により消滅しているため不納欠損処理を行うべきであるとの報告をいただきました。

このような状況から、住宅新築資金貸付金償還金328万4,938円の債権を放棄する議決をお願いするものでございます。

以上、説明いたします。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

まず、議案第9号について質疑はありませんか。

筈議員。

○9番（筈 公一君） 総務課長にお尋ねしますが、これは会計年度任用職員の方に勤勉手当が支給できるようになるということですね。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） そういったところです。

○9番（筈 公一君） 非常に待遇が改善されるということで、ええとは思いますが、当初予算のほうに関係してくるのかも分かりませんが、大体これによってどのぐらいの金額が必要になるかって、全体って今のところ捉えれとん。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 私の記憶にある数字でしたら、勝浦町全体で多分3,000万円ほど。

○9番（筈 公一君） この会計に。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） に要する経費としては、人件費的には上がっている。

○9番（筈 公一君） 上がると。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） というふうには捉えています。

○議長（松田貴志君） 筈議員。

○9番（筈 公一君） そのぐらいの金額が必要ということですね。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 勤勉手当そのものでなくて、勤勉手当に伴いまして保険料とかそういったものの町村の負担とかも含めて全体で3,000万円というところですね。

○9番（筈 公一君） 分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に行きますね。

続いて、議案第10号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 具体的にどのような利便性があるんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） こちらのほう、利便性と言われるとちょっとあれなんですけど、国の法律の中で別表として第2つというところが示されておったのが廃止になったことに伴う条例の改正でございます。特定個人番号の利用事務について、条例について規定をさせていただくというところで必要が出てきたところに伴う改正でございます。大きく内容的に変わるようなものではなくて、国の法律が変わったため町の条例の中で規定をする必要が出てきたというところなんです。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 分かりました。

何かマイナンバーの提供がもう少し広がるのかなと思ったんです。分かりました。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 以前からの市町村での独自利用というところがそういったところで規定をし利用が可能になるとかっていう、そういったところでは利便性は向上するものと思っております。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） マイナンバーを取得してない人はこれはどうなるんですか。関係ないんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） マイナンバーというか、マイナンバーカードを取得してない方についてもマイナンバーはお持ちですので、そういったところでマイナンバーの理由及び情報連携に関する規定の見直しということでございますので、関係はしてくると思います。個人が例えば住民票を取るのに使うとかっていうだけでなく、行政機関とかの連携の中で利用していくというところで、番号はそれぞれ皆さんお持ちですので、そういった事務の利用というところで関係はしてくると思います。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） カードは取得してなくても、もう国民全員に国がナンバリングしているっていいことですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 国の最初のほうで、こういうグリーンの何かカードみたいな送られてきた番号は各個人についているものでございます。マイナンバー自体はもう既に一人一人ついてるものというふうには制度としては思っております。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 本人が登録してなくても、もう国のほうはちゃんと登録しているっていいことですね。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 番号としては、つけられているという言い方はちょっとあれなんですけど、既に振られているというふうなところです。

○10番（井出美智子君） 分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、次行きますね。

続いて、議案第11号について質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 勝浦町って、行政の中に蓄電池設備はあるんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 急速充電設備、電気自動車とかにつけるやつと思いますが、町の施設のところにはないですが、道の駅のところにたしかあったというふうには思っております。

○7番（美馬友子君） 急速充電設備、蓄電池。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 役場にはあります。

○7番（美馬友子君） 外にある分がそうか。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） ほかの施設にも恐らく病院とかそういったところにはあるかなと思いますが、数まではちょっと。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 蓄電池施設はあるんやね。分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に行きますね。

続いて、議案第12号について質疑はありませんか。

筈議員。

○9番（筈 公一君） これは課長でも副町長でも町長でもいいんやけど、答弁は。大体目標とする積立金額っていうのはどのぐらいのことをしとんのか、例えば県だったら初め10億円とかというんがあったやないですか。勝浦町の場合はどのぐらいを、目標みたいなのはあるんですか。まず、これが1点。誰でも結構。目標のことやけん町長でも副町長でも、課長ではなかなかかも分からんので。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 具体的な目標といたしますか、状況を説明させていただくと、ただいま財政調整基金、こちらのほうが約24億円ほどございます。こちらのほうを大体、私だけかも分からんですけど財政課長として目安としているのが標準財政規模ぐらいまで、大体今22億円から25億円ぐらいが標準財政規模なので、大体そこらぐらいの分の財政調整基金は既にあるというふうには捉えています。そういったところで目的を持って基金を積んでいくというところ、それから星谷橋の架け替え基金の積立てが令和5年度で終了いたしました。病院改築につきましても現在基金が約2.7億円あります。積立ての方針といたしましては、歳計剰余金というか、決算が出た時点で剰余金が出てくると思います。それらの額をできるだけ積み立てていこうかなとは思っておる方針ではありますが、取りあえずの目安としては10億円程度までは積んでいきたいなというふうには財政課長としては思っております。

○議長（松田貴志君） 筈議員。

○9番（筈 公一君） ちょうどこの後に質問しようと思ったことを課長が今、答えてくれたけん。ちょっと関連するんやけど、要は財調に積むんとどう違うんやって。本来なら財政調整基金に積んだってええような話だったと思うんやけど、今課長が言うには大体財政調整基金は25億円ぐらいのめどのところまで来とるけん、あと剰余が

出てきたらこれを目的を持ったものに、災害に備えるやつとして積み立てたい、そういうことでええですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 標準財政規模というのを目標というんは、大体標準財政規模の額ぐらいが勝浦町の財政に必要な最低それぐらいは財調でどうかなというふうな私の財政課長としての考えです。そこらぐらいが基準だと。

国の方針によって財調でずっと積み立てて、目的もなく基金として置いていくっていうのはどうかなというような国の上のほうからの話もございますので、目的を持って今回防災関係の災害対応の基金として設立をして、そちらのほうに災害ですので幾らあっても私は足りないようになると思うんです。だけど、緊急的にはこちらのほうの財源を使って対応していくという意味で、取りあえずの目標として10億円程度は積んでいきたいなと思っております。災害の場合ですので、激甚災害とかの場合は国の助成とか補助とかあるものとは思っておりますが、その程度は町としては積んでおきたいなというふうには思って積立てを開始をさせていただきたいというところですよ。

○議長（松田貴志君） 節議員。

○9番（節 公一君） 以前から議会のほうの防災対策特別委員会のほうで、こういう基金を積み立てていったほうがええんじゃないかというようなことをずっと議論して提案もしてきたと思うんですが、やっとうこういうことになってきて、それはそれでちょうど今回の能登のほうの地震のこともあったんでタイミング的には非常によかったんかなというような気はします。ほなけん、毎年定額これぐらいずつっていうのはなくてして、決算によって剰余金が出たらほの中の金額で積み立てていくというそういう感じなんやね。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） ざっくりとした金額にはなりますが、そういったところですよ。しかしながら、大体例年1億円から2億円弱ですかね、1億5,000万円ぐらいは財調に積んでおりましたので、それぐらいの金額になるんではないのかなというふうには考えております。

○9番（節 公一君） 分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第13号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第14号について質疑はありませんか。

すんません、この際聞いておいてもいいですか。この基金条例を活用した起業について、最後決算でもまた整理することもあるかもしれませんが、現状の件数と具体的に今も継続して事業をされているかっていう部分についてだけを報告お願いします。

寺尾課長。

○企画交流課長（寺尾由美君） 条例の設置は平成24年でしたが、実際に補助金の交付が始まったのは平成28年から8年間にわたって行ってまいりました。平成28年度に3件、令和元年に1件、令和2年に3件、令和3年も3件、それから本年度1件で合計11件交付を行いました。

内訳ですが、飲食系が2件、それから食品の製造販売が3件、その他の事業として6件、男女別では男性の経営者が6名、女性の経営者が5名、年代別では30代の方が3名、40代の方が5名、50代以上の方が3名という形になっております。雇用の状況につきましては、経営者のみの事業者が6名、1名から2名雇用が3件、3名以上の経営者が1件、残念ながら1件だけ体調不良により休業しておる業者さんがおいでます。

以上が実績となります。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは続いて、議案第15号について質疑はありませんか。

1点よろしいですか。地域福祉基金のその目的の部分に課長説明してくれたと思うんですよ。それで、ごめんなさい、私まだこのとき議員になってなくて、実際どういったタイミングでこの基金が積まれて今まで積み上げてきたちゅう経緯の部分について教えてもらえたりできますか。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） この条例の制定がありましたのが平成3年4月から施行されております。ただ、私も最近動きがないなっていうようなところで確認はしたんですが、積まれた理由とといいますか目的、使用された経過を見ましたら、過去には福祉まつりであったりとかっていうようなところで使用した経過がございます。もう町のほうの予算は尽きまして、そこで今は予算を取ってからしてますので、しばらくこの動きがないような状況にはなっております。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。

多分、今回のさっきあった災害対応基金条例みたいに必要に駆られて設置はされたと思うんですけどね、当時。活用されてないっていうことで、私も監査しているときにそこらあたりは気にはなっておったんで。よく分かりました、ありがとうございます。

小休します。

午後4時07分 休憩

午後4時10分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 先ほどの地域福祉基金につきましては、当初国のほうからということで交付があった経過がありますが、それを基に積立てをして、預金をしておきまして、それを基に過日運用をしてきた経過がございます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に行くね。

続いて、議案第16号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは続いて、議案第17号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 次に参ります。

続いて、議案第18号について質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 続いて、議案第19号について質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番(美馬友子君) 基準値から下がる人はいい条例やなと思うんですが、13段階にも増えたということは、今現状で9段階の人はどれぐらいの段階になるんですか。

○議長(松田貴志君) 長友福祉課長。

○福祉課長(長友清美君) 標準が5段階になりますので、9段階はそれよりも4つぐらい上というようなことになります。

9段階の人は、標準が今5段階になるので、9段階はそれよりも上というか。

○7番(美馬友子君) 介護保険を払うお金は同じなんですか。段階が分かれただけ。

○福祉課長(長友清美君) 段階が分かれて、それぞれに対象の。

○7番(美馬友子君) また高くなるんやろうな。

○福祉課長(長友清美君) はい、所得によって段階が違って行って、保険料も変わります。

○7番(美馬友子君) 分かりました。

高なるほうが多いですか。基準値は増額してないけど、払う介護保険料が高くなる人のほうが多いと予測されます。

○議長(松田貴志君) 長友福祉課長。

○福祉課長(長友清美君) 人数ですかね。多分働かれている高齢者の方が多いので、今までの所得を鑑みるとそのような傾向が多いのではないかと考えております。

○7番(美馬友子君) 分かりました。

○議長(松田貴志君) ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 続いて、議案第20号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) それでは続いて、議案第21号について質疑はありませんか。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 続いて、議案第22号について質疑はありませんか。

瀬戸議員。

○6番(瀬戸直一君) この不納欠損、債権放棄してあるんですが、努力はしたんですよね、回収の。

○議長(松田貴志君) 後藤住民課長。

○住民課長(後藤信之君) 回収のほうは連絡を取るなど、それから残額のお知らせとかを送ってご相談には乗ってきたということでございます。

○議長(松田貴志君) 瀬戸議員。

○6番(瀬戸直一君) 赤紙貼るとかそういうことはなかったんですか。

○議長(松田貴志君) 後藤住民課長。

○住民課長(後藤信之君) 赤紙貼るまで、私の知っている限りではそこまではなかったかなとは思いますが。

○議長(松田貴志君) 瀬戸議員。

○6番(瀬戸直一君) そういうことはやらないんですよね。

○議長(松田貴志君) 後藤住民課長。

○住民課長(後藤信之君) 私の知る限りはそこまではやってないです。

○議長(松田貴志君) 瀬戸議員。

○6番(瀬戸直一君) これ300万円もあるんで、ある程度は回収せんと、欠損でええっちゃええんだらうけど、私はどうかと思うんですがね。どう思います。

○議長(松田貴志君) 後藤住民課長。

○住民課長(後藤信之君) 回収の努力はしてまいりましたが、その結果、弁護士さんにも相談したところ不納欠損処理が適当であるというふうな報告をいただいたというところでございます。

○議長(松田貴志君) 小休いたします。

午後4時21分 休憩

午後4時21分 再開

○議長(松田貴志君) 再開いたします。

後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 申し忘れましたが、本人さんはもう死亡されておりますので、ほういった案件でございます。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） では、仕方ないですね。だけど、ほれは死亡したんがいつなんかは分からないんですが。

ちょっと小休してもらえますか。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午後4時22分 休憩

午後4時24分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 今回の場合は債権になりますので、それを差押えということになりますと裁判所のほうにも許可を得るといいますか、そういうことも必要になってくるかと思えます。

本人さんはもうお亡くなりになっただけですけども、法定相続人それから保証人の法定相続人の皆さんにつきまして消滅時効を援用するという意思表示がなされたということをもちまして、不納欠損処分が適当であるというふうな報告をいただいております。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） そしたら、もう一点だけお聞きします。

幾らかは回収されたんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 幾らかは過去に収納いたしております。

○6番（瀬戸直一君） どのぐらいです。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午後4時25分 休憩

午後4時25分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 292万円でございます。

○6番（瀬戸直一君） いや、何ぼで何ぼなん。

○議長（松田貴志君） そこを言うたげて、もともとの。

○6番（瀬戸直一君） もともとの。

○住民課長（後藤信之君） 貸付金額は620万円でございます。

○6番（瀬戸直一君） 約半分やね、分かりました。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） あと何人の方で、総額幾ら残っているんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 今回議決をいただきますと、あと7名の方で、金額でいきますと3,228万9,768円でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 残り7名の方の返済状況はどんなでしょうか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） 3件の方が少額の場合もございますが、入金はいただいておるといところでございます。

以上です。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 残り4人の方はまた債権放棄をしなければならない可能性が大きいということでしょうか。

○議長（松田貴志君） 後藤住民課長。

○住民課長（後藤信之君） そういうことも含めまして、また相談につなげてまいりたいと考えております。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 確認してみました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

ちよつといいですか後藤課長、言っいいですか。

この住宅新築資金貸付の事業って、当時貸し付けるお金に関して国等からのある程

度補填というか助成というか、そういう部分はあったんですか。

ごめんなさい。何が言いたいかといえば、国なりそういった部分のお金プラス町費として支出しているっていう部分を債権放棄する残念な結果になったっていう現実があるんだったら、ある程度もう少し丁寧に議会に対しても説明をしてもらいたいなと。不審がられたり質問を重ねられることのないように説明をしてほしかったなと思って確認をさせてもらいました。

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) それでは、以上で詳細質疑を終了します。

お諮りいたします。

議案第9号から議案第22号までを第二読会に付すことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議ありませんので、議案第9号から議案第22号までを第二読会に付すことに決定いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

4日は午前9時30分から再開します。

本日はこれにて散会いたします。

午後4時30分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員